新京日日新聞
夕刊
二月二十四日
本紙 一部五錢 一ヶ月一圓 / 定價 郵税 一ヶ月十五錢 / 廣告料金 普通 一行 一円五十錢 特別 同 二円五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 和波繁
印刷人 水越内之介

採炭實績を基礎に 明年度大增産目論む

全滿出炭 二千六百萬瓩へ

康德六年度に於ける全滿の出炭成績は夏季の全國的苦力大移動によつて計畫遂行に可成りの支障を來し年末需要最盛期を前にして石炭不足を招來したが、十一月初旬の全國炭礦長會議、勞工協會の臨時苦力募集等の緊急對策によつて九月を最低として十月より漸次好轉し滿炭の如きは九月の八十一%より十月九十六%、十一月九十五%、十二月百%と良好な成績を收め一月―十二月の曆年に於ては豫定計畫に對し九十一%の成績を示した、二月以降も略ぼ同樣の出炭を見せてゐるので昨年四月より本年三月に至る年度に於ては豫定計畫七百八十萬瓩に對し九十一%を突破する七百二、三十萬瓩が期待されてをり滿鐵系その他を合計して全滿採炭量は二千萬瓩臺を實施するものと見られてゐる、七年度はこれ等の實績を基礎として更に大增産が期待されてゐるが、その全貌は左の如く總出炭量二千六百萬瓩にのぼり六百萬瓩の增産が豫定される

一、滿鐵系 滿洲國に於ける石炭産額の大半を占むる撫順炭礦が既に採炭の經濟的限度に達してゐるため七年度も大體現狀維持に止まつてゐるが第二の撫順として期待される蛟河炭礦の增産に主力を注ぎ、六年度の出炭五十萬瓩に對し約四十萬トン增産が計畫されてをり滿鐵系の總産額は一千百萬トンとされてゐる

一、滿炭系 增産の中心をなす滿炭は六年度に於て三百二、三十萬トンの增産を實現したが七年度は北部開發局を新設して從來開發の遲延してゐた密山ブロックの開發を促進し中南滿と平均した增産を期することゝした、七年度に豫定される主要炭礦出炭高は中南滿では阜新の三百萬トンを最高に西安百七十萬トン、北票百二十萬トン、北部復州二十五萬トン、北部ブロックでは鶴岡百五十萬トン、滴道八十萬トン、城子河、恒山各二十五萬トン等で合計一千百萬トンにのぼり同社の出炭は遂に滿鐵系と同一比重に達するわけである

一、その他 兩社以外で本溪湖の百三十萬トン、東邊道の百萬トン、琿春舒蘭の各三十萬トン等が主なるものであるが、滿洲鑛發によつて計畫されてゐる鷄西、樺甸その他の群小炭礦より百萬トンが豫定されてゐる

重點主義强化へ 滿鐵の機構改革

大村總裁の歸京を待ち重役會議を開催

八億圓の增資並に社國線の一元化に伴ふ滿鐵機構の改革は當面の喫緊事として目下當事者に於て鋭意調査研究がつゞけられつゝあり、一方十五年度事業豫算は對滿事務局の審議を終り既に大藏省に廻付政府豫算との關係上三月末には資材關係と睨み合せる必要上條件付で承認となる模樣であるが十五年度滿鐵事業は重點主義强化の方針で進むことに間違ひはなからう、これら當面の主要問題につき二十六日大村總裁の歸任を俟ち大連で重役會議が開催されることゝなつた

承德地區慰問

張司法部大臣は日滿軍警慰問のため二十二日午後七時三十分着列車で來承、二十三日午前九時から神社、忠靈塔に參拜ののち防衛司令部訪問慰問の挨拶をなし次いで陸軍病院、治安部病院に白衣の勇士を慰問午後五時軍司令部、省公署、憲兵隊、第五憲兵團等を歴訪それぞれ慰問の挨拶を述べたが二十四日は古北口に向ひ同地に一泊、軍警を慰問、二十五日承德に引きかへし二十六日午前十一時二十分發列車で歸任する

興農合作社中央會 首腦者決定

興農合作社は四月一日を期して設立されることになつたが、政府は同中央會の理事長副理事長の人選に付き各方面と折衝の結果、理事長に現滿洲國糧穀會社理事長小平權一氏を、副理事長には金融合作社副理事長白濱清澄氏に白羽の矢をたて交渉中のところそれぞれ快諾を得たので設立と同時に正式發表をみるなほ糧穀會社理事長後任は目下歸省中の小平現理事長の歸任を待つて決定の筈

滿洲開拓協議會 設立案決定

【東京國通】滿洲開拓協議會(中央)設立幹事會は廿二日午前十時より拓務大臣官邸に開催、協力加盟十九團體の幹事と懇談の結果、草案通り滿場一致規約を決定した、なほ發會式は三月上旬に行ふ豫定であるが同會結成と共に今後の活動に一層積極性を持たせるため幹事十數名が現地を視察する

開拓義勇隊 第一隊一萬人入滿

幹部養成訓練所を新設

軌道に乘つた青年義勇隊制度も第三年目を迎へ本年は康德四年入滿した青年達は訓練生として愈よ最後の段階に入り輝かしい開拓團員として世に送られるのであるが、引續く第二陣として目下大訓練所に研鑽中の青年等は基本訓練一ヶ年を終了したので來る四月迄に全部小訓練に移行することゝなつた、これ等の新しい生徒等のために設けられる小訓練所は目下の豫定では甲種約廿五ヶ所、乙種八ヶ所自警村訓練所十四ヶ所が豫定されてゐるが、尚此の外に內種訓練所設立の計畫もあり、結局移行すべき人員は約二萬二千餘に及び此の大訓練所生徒の移行が終ると同時に六月初旬內原で豫備訓練をうけ本年度第一隊約一萬が入滿することになつてゐる、內種訓練所は大體將來の開拓團における特殊技術要員を目的とするものの養成に當るものの外更に義勇軍幹部たる要員の養成に當るものと二種類の設立が計畫されてをり目下着着準備を進めてゐるが、義勇隊幹部養成問題が現に內原において行はれてゐる幹部養成の實情を以てしては將來逐次擴大される義勇隊制度編成に當つては當然幹部不足が豫想されるので、義勇隊幹部養成內種訓練案(小訓練所同樣二ヶ年實習)は頗る機宜の處置として注目されてゐる、本年度自警村訓練所に向ひ國內の鐵路の保全を併せて沿線の開發に當るものは昨年と同樣約五千人に及び、これが配分計畫については目下鐵道當局において研究中であり一般鑛工部門特殊會社附設內種訓練所移行生徒については各訓練所長において人選が進められつゝある

事變に關聯し重要な新提案

ジ駐支米大使 蔣介石と會見

【北京廿四日發國通】海防から昆明を經て重慶に向ひつゝあるジョンソン駐支米大使は重慶到着後、蔣介石に對し事變に關聯して重要なる新提案をなすのではないかと言はれる

即ちジョンソン大使は重慶へ出發前、昨年十二月初旬より約二ヶ月に亘つて北京に滯在しその間在北支のわが關係筋とは會談せず、專ら米國大使館當局その他を通じてわが方針の對支態度を打診、この間天津を訪問して具さに事態を檢討した結果一應の結論に到達した、續いて起つた新中央政府問題、日米無條約現出に對するわが方不動の決意をも明かになし得たのでこの結論をもつて蔣介石と會見、現狀を基礎としての事變解決策につき重大なる勸告乃至提案をなすべしとの觀測が有力である

省縣地政の職員打合會

第三次修正計畫案の實施に基く地政總局の省縣地政職員打合會は廿三日午前十時から國防會館に開催地政總局から宗局長、篠原副局長、各處長以下四十名、地方側省縣から地政科長並びに主任者四十餘名が出席の上宗局長、篠原副局長の挨拶、村井事業處長、西尾審査處長から夫々修正案の大綱につき説明を加へ、次いで各科長より要綱について説明、富樫參事官の監察事務並びに地政事務取扱に關する説明、豐藏參事官の裁決事務、水野參事官の暫行土地取照事務等に關し説明があつた なほ第二日の廿四日は午前十時卅分から東本願寺別院で物故職員の合同慰靈祭を執行、午後から國防會館で修正計畫案實施に對し種々の懇談を行ふ

諾威政府 補充兵召集

【オスロ廿二日發國通】ノルウエー政府は沿岸防備並に獨立確保のため補充兵及び飛行士を召集することに決定した、右處置は英軍艦コザック號事件に關聯してなされたものである、なほ一九三九、四〇年の未教育兵に對して四月一日、七月一日十月一日召集を行ひ教育を施す一方三百名の民間飛行家に對しても教育をなす旨陸軍省より發表された

佛蘭西國民は『勇敢に……』戰爭の重荷を負擔しつゝある

苦役の混血軍曹 わが通譯に蘇生

和平救國に目覺めて脱出

【○○廿三日發國通】過ぐる昭和十二年十一月十四日わが河喜多部隊が平望鎭攻略の際日本語をペラペラ喋る日支混血兒李阿根(當時一五)といふ少年兵を捕虜にしたが、その後チンピラ兵隊といふ綽名をもらつて同部隊の通譯となり非常に重寶がられてゐたが、今次の第二次浙東作戰にも捕虜となつた敵兵中に日支混血兒がゐる、去る十六日わが菅原部隊が龍山西南方八キロの胡月鎭西方一キロの山岳地帶で奮戰中、根本秋夫(茨城縣出身)鹽澤米藏(福島縣出身)の兩一等兵の前面に支那兵がゐるのを發見これを捕へて怪しげな支那語で話しかけると何んと驚くなかれ件の支那兵はペラペラと達者な日本語で「私は胡家林(二七)といふ軍曹です」と來たので泡を喰つた兩一等兵は直ちに部隊長のところに連れて行き報告すると、これは重寶とばかり早速通譯に使はれ嬉々として各戰鬪に從軍してゐるが同捕虜の話によれば彼は胡番舟(六八)といふ支那人を父に、高橋某子(現在橫濱市中區元町一丁目に居住)を母にもち姉胡月英(二九)と四人で上海合興里七十五號に住み父は洋服商を營み生計を立てゝゐたが事變發生と共に母は姉と一緒に日本に引揚げ、あとは父と共に佛租界に住んでゐたが、彼は十二年九月漢奸の嫌疑で抗日分子に强制徵發されて寧波に送られ第七十九師補充團第二營第四連に入隊、累進して軍曹になつたもので最近における支那軍內部の和平救國熱とこれに共鳴して脱出する同僚の續出に彼も日本軍の來攻を待望しこれを機會に脱出を企圖してゐたものである なほ今回の第二次浙東作戰においてもわが空軍の撒布した勸降狀を拾つて上官の眼を盜んで讀み耽り脱出の機を狙ふ同僚が極めて多いのを彼は目擊したといつてゐる

繁昌を占領

【安慶廿三日發國通】○○部隊發表=繁昌附近の峨々たる山岳地帶の堅陣に據る敵第百四十四師及び新編第七師を邀擊、屍體約三千に達し十九日來泥濘を冒し峻嶮を攀ぢて進擊を續け繁昌包圍圈を縮小しつつありたる○○兵團石谷支隊は廿二日早朝より繁昌攻擊を開始せり石谷支隊は繁昌北方山岳地帶の堅固なる既設陣地に據り執拗に抵抗を續けありし敵を鎧袖一觸これを擊滅して繁昌北方約一キロ附近の高地に進出するや、敵は繁昌南方の高地帶に約五百の新鋭部隊を增援してわが繁昌攻擊を極力阻止せんとせしも石谷支隊は更に猛進、協力飛行機の適切なる爆擊の效果を利用しその一部をもつて峨山頭(繁昌東南方約一キロ)の要所を拔き繁昌東南高地一帶を占領して敵の退路を遮斷し全力をもつて繁昌を占領、逃げ惑ふ敗敵を潰滅して敵の根據を覆滅せり、本戰鬪における敵の遺棄死體約一千、鹵獲せる兵器彈藥多數、これに對しわが方損害は極めて僅少

東亞輸出組合 地域別組合を結成

【東京國通】滿關支向輸出調整事務に當る東亞輸出組合は東京ほか九ヶ所に設立されてゐたが、その後順次擴大され日本東亞輸出組合聯合會の下に全國十六の地域別組合設立を完了したので商工省では廿四日附で貿易組合法第十八條に基き統制命令を發動したなほ右組合の輸出高は昭和十三年九月一日より十四年八月卅一日までの一ヶ年の實績を基礎にする事に改正された

前線の日滿軍警慰問 邊境防衛の治安維持に日夜奮鬪する日滿軍警を慰問中の扎興安局總裁は二十一日王爺廟の省公署警務廳始め興安軍官學校、治安部病院を訪問、鄭重な慰問を行つた【寫眞は警務廳を慰問の扎興安局總裁一行】

米大統領の和平工作 時期早く効果薄し

寺岡事務官の歐洲視察談

歐洲の春だより

昨年十一月東京を出發以來ソ、獨、英、佛交戰國を始めイタリー、ハンガリーを廻つて歐洲諸國の情況を視察し戰爭か平和か、歐洲の春の便りを齎らし故國に急ぐ外務省の寺岡事務官、鎌田屬官は廿三日午前五時滿洲里着、同午後零時五十分發哈爾濱に向つたが語る

歐洲戰局は春になつても大した變化は起らない、ソ芬戰爭でソ聯も手を燒いたがバルチック海の覇權を握りスウエーデンの轍に睨みを利かしドイツを押さへんとする目的で始めた事だからフインランドとの戰略點を確保すればそれ以上手を出すまい、英佛も本格的に北歐に兵を送るまいから戰は近く終了するであらう、ドイツは專ら飛行機と潛水艦による英國封鎖作戰に出てゐるが、潛水艦は以前程效果を表さなくなつた、政府は秋までに戰はドイツの勝利で片づくと宣傳してゐる、ドイツは秋には攻擊に出るかも知れぬが春の攻擊はなささうだ、英佛は經濟封鎖の效果を信じて積極的攻勢には出まい、英國は海上不安のため食糧は幾分不足し、對空警戒も嚴重だが國民は落附いてゐる、フランスは一層戰爭氣分薄く、軍當局は士氣維持のため休暇を與へ故鄕に歸してゐる、パリに出て來た兵隊達はのんびり遊んでゐる、戰は長びくが勝利はこちらのものと國民は信じてゐる、バルカンは北からソ、獨、南から英、佛、伊の五勢力が對立の儘だが、どの一國が先に手を出しても他の三勢力から袋叩きにされる恐れがあるのでなかなか手が出ない有樣だ、裏面工作は進むだらうがイタリーは中立だけに當分現狀の儘だらう、これを利用しての甘い汁を稼ぎはやめられまい、ルーズヴエルト大統領の和平工作も時期早く效果を期待されないといふのが英獨の意見であるがソ聯だけは心配してゐる、歐洲の反ソ空氣は惡化の一方だから英獨戰後に來るものを警戒してゐるのが見える、極東へはそれだけ手が廻し兼ねるだらうが支那事變も歐洲では關心が薄くどうしてまだ片づかぬのかと不思議がつてゐる、支那の大公使は武器買入れ工作をやつてゐるが信用がなくなり相手にされぬ樣だ、外から見るとよく分ることだが物資不足を通じて國民が考へるほど蔣政權の力は强くない、歐洲戰爭は經濟戰だから早急に終りはしない、國際情勢は樂觀するに足りる、國內生產力の充實と對米關係が日本にとつては一番問題である、これを速かに解決し次に備へねばなるまい

人事往來

着京

▲星子奉天警務廳長廿四日來京ヤマトホテル ▲伊藤寬三氏(牡丹江木材會社社長)同ミクニホテル ▲吳石權一氏(東洋木材會社社長)同 ▲中村覺氏(東洋木材會社員)同 ▲神子勇氏(安東警務廳長)同國際ホテル ▲大平三郎氏(生必會社黑河支店長)同 ▲西林幸貞氏(滿洲國官吏)同 ▲小川正義氏(教員)同富士屋旅館 ▲本田一眞氏(トーキー技師)同 ▲山口米三郎氏(官吏)同常盤ホテル ▲小野喜一氏(同)同 ▲飯塚一人氏(同)同 ▲中澤雅太郎氏(會社員)同 ▲早川平四郎氏(同)同

出發

▲垣內强氏 チヤムスへ ▲安村文雄氏 ハルビンへ ▲木村定吉氏 大連へ ▲八木市松氏 延吉へ ▲若槻三宅氏 奉天へ ▲金澤辰夫氏 安東へ ▲平井勇氏 同 ▲白方五五郎氏 同 ▲根本謙一氏 撫順へ ▲西原能刀氏 錦州へ ▲渡邊俊秀氏 大連へ ▲金澤眞太郎氏 撫順へ ▲金田一郎氏 奉天へ ▲白尾薰氏 ハルビンへ ▲樋口秀一氏 圖們へ ▲井部重郎氏 牡丹江へ ▲寺田稔吉氏 ハルビンへ ▲安田久吉氏 同 ▲大堀市治郎氏 大連へ ▲牛尾義方氏 吉林へ ▲根津孝一氏 本溪湖へ ▲津田京太郎氏 奉天へ

團體往來

△大連鐵道學院電信科生四十四名午前七時四十五分着京午後十一時十三分離京歸連 △日滿軍警慰問團六名午後九時三十分着京

その日く

支那では奧地用と、新生地域用の兩種の映畫を作つてゐるといふ

◇

支那國民の間にも、そんな二重性で行つてるのもゐはしないか

◇

この際、國民統合のためにしつかりとした理論が必要であらう

◇

むろん、貴國は如何などと、逆襲されぬだけの用意も要る

◇

そして理論は灰色であつてならず、生々した綠色でなくてはならぬ

早くも申込み殺到

本社主催 双輪大會果然、人氣の的！

陸軍記念日に贈る本社主催第二回忠靈塔、忠魂碑巡拜自轉車荷重繼走大會は三月十日陸軍記念日の佳日を選んで擧行されるが計畫發表と共に俄然人氣を煽りまさに銃後青年の意氣を衝くものあり各方面より續々參加希望の申込を受けてゐる、なほこれと同時に新京特別市公署體聯事務局を始め自轉車同業組合、商店同業組合よりの全面的後援ある外電業支店、各百貨店より大會獎勵の意味に於て賞品の寄贈あり大會は盛會を期待されるに至つた、コースは圖の通り

國都の公正家賃

愈よ四月から實施

高家賃引下げの臨時住宅房租統制法の本格的實施を急いでさきに新京住宅房租審査委員會が結成されいよいよ釘付家賃が決定されることになつたが市ではこれに先立ち委員會運營の萬全を期して二十三日午後一時から第一會議室で事務取扱說明並に審査に關する打合會を開催した 經濟部湊事務官及び委員會幹事各區代表など約三十名出席して打合せの後ち意見の交換を行ひ散會したが、公定家賃決定の重要點たる一定割合の比率については經濟部で近く全滿重要都市に付て實地調査を遂げた上、三月中旬頃發表の豫定なのでこれが決定を待つて第一回審査委員會は三月下旬頃開催、全滿に魁けて國都は四月一日から公定家賃を實施すべく準備する事になつた

警護訓練愈よ最高潮！

「かつて見ない、見事な燈火管制であつた」と、國都冬季警護訓練第一夜の燈火管制に對し統監本部關屋副統監は感激的口調で語つた、正に時局を認識し本訓練に對する市民の自覺を物語る證左であつた、第一日かくも多大な成果を收めつゝ警戒管制下の無氣味な靜寂の中に第一夜は明け放れ、燦々たる陽光に惠まれた絕好の訓練日和に惠まれて警護訓練第二日二十四日を迎へた、朝まだき街は何事もなかつたやうに車馬輻輳し今日の活動は活潑に繰り展げられ賑ふ國都を現出した、折しも午前十時四分空襲警報のサイレンは市民の耳朶を強く打つた、防空監視哨の網をくぐつた敵機は小癪にもわが勇敢なる地上部隊に挑戰、國都の上空に飛來して繁華街日本橋通り正金支店に爆彈を見舞つた、訓練第二日の整然たる活動はかくして火蓋を切り訓練は最高潮に進んで行く

正金銀行支店(日本橋通)に敵機、燒夷彈投下

消防班"活躍に"第二日"火蓋切る

華々しく火蓋を切つた冬季警護訓練第一日に引つゞき警戒管制裡に凄愴な一夜を月明のうちに明かした國都は二十四日第二日を迎へ第一日の試煉により更に訓練を徹底化す意氣込みで統監部本部では早朝より各自體防護團、協和義勇奉公隊に指令を發し國都防衛の鐵桶陣は愈よ强化された「いざ敵機御參なれ」と腕を撫して待機してゐる折柄、午前九時五十九分突如吉林防衛司令部より敵機來るとの警報を受け統監部本部では直ちに空襲警報を發令忽ち全市に鳴り響くサイレンに街の各所に掲げられてゐた青旗は赤旗と變へられ瞬間交通ははたと杜絕し一脈の緊張味がさつと全市を覆うた折りしも既に國都の上空に姿を現はした敵機は日本橋通正金銀行に燒夷彈を投下、燃えさかる紅蓮の炎に祝町消防署に待機してゐた敷島區消防班はそれッと二十數名の班員を繰出して指揮者の號令下一糸亂れず十七、八歲の少年も混つて華々しい消火作業が展開されたかくて發火後約二十分にして消防班の必死の作業に火災も大事に至らずさしもの燒夷彈による猛火も鎭火せられ十時二十九分敵機は地上部隊の果敢な應戰に退けられ空襲警報解除のサイレンは高らかに鳴つた

【寫眞】上から投下された燒夷彈▼空襲を自轉車で各管內に傳達する防護團▼滿人の特定箇所避難

神酒の利目あらたか お、水が出た！

敷島區消防班 小型ポンプ秘聞

【時日】國都多季警護訓練第二日、二十四日午前十時四分【場所】國都中樞街日本橋通り正金支店

空襲管制下飛來せる敵機の投下した燒夷彈に正金支店は火炎に包まれる折柄、急報に接し出動した義勇奉公隊敷島區隊消防班の防火演習は關屋、田村兩副統監以下統監部首腦部及び全滿各地より來京した警護訓練見學團注視裡に展開された、この防火訓練は過般市公署が全市義勇奉公隊各區隊に授與した小型ガソリンポンプによつて編成して日尚淺い消防班最初の訓練であり延いてポンプの性能をテストするものであつた、成果如何にと消防班の一擧手一投足に注目された 班員の落附いた操作によつて小型ポンプのエンジンは心よい響きをたてて廻轉を開始した、そして素晴しい性能を發揮して水龍はからりと晴れた空に跳つた「水が出た、水が出た」水が出た喜びに關係者の面上はぱつと明るく瞬間黑い兩副統監の顏もほころび白い齒がはつきり浮き上つた 水の出るポンプから水が出ることに何んの不思議があらう、だがこのポンプから水の噴き出るまでには、敷島區隊消防班の淚ぐましい挿話が秘められてゐたのである 即ち小型ポンプを授與された四、五日前、同區隊では直ちに專屬消防班を組織本訓練に備へて訓練を開始したが、消防班の生命であるポンプに故障を起し班員の淚ぐましい努力も空しく水の出ないポンプに終つた、訓練は愈よ迫つた二十三日夜「我々はポンプと生命を共にする」の悲壯な意氣で神酒をポンプに捧げ月明の下最後の操作を開始した結果、こゝに班員の念願通じてエンジンは順調な廻轉を開始したのであつた 然しこの一回の試驗は班員に充分の確信がなかつた、不安のまゝ本訓練に出動したが、與へられた使命を飽くまで遂行せんとする班員の責任觀念に燃えた淚ぐましい努力酬いられて水龍は勢よく碧空に跳つたのである、訓練終了後一同は記念公會堂に集合、寺中敷島區隊長、淺井同副隊長の激勵の辭に今後の奮闘を誓つて冷酒乾杯散會した

實社會第一步

商業生晴の卒業式

新京商業學校卒業生百三十二名の晴れの卒業式は午前十時から同校講堂で官民來賓多數參列の下に盛大に擧行された、操行善良、成績優良、精皆勤につき夫々表彰されたが氏名は左の通り

△全權大使賞 福永佳夫
△功績賞(前校長赤塚賞) 福永佳夫、馬場正治、內山博八、小林一及
△新京教育獎勵會長賞 山崎勇、田村文雄、內山博八
△新京商工公會會長賞 鈴木淳榮、岩田精男、相葉榮松
△優等賞 山崎勇他二十三名
△五ケ年皆勤賞 鈴木莊助他四名
△五ケ年精勤賞 池田惣一他八名
△本年度皆勤賞 赤司一男他三十五名

尙卒業生中上級學校入學希望者は七十名(內入學許可を得た者四名)就職決定の者五十七名自家營業に從事する者五名となつてをり上級學校希望は概ね高等商業學校で就職先は在滿各官民會社、北支方面となつてゐる【寫眞は卒業式】

全驛員に對し防毒面講習

新京驛

警護訓練第一日目二十三日午前午後四回に亘つて襲來した敵機を敢然擊退してその防備の完璧を誇り鮮かな訓練振りを發揮し多大の成果を收めた新京驛では更に國都玄關新京驛の固き守りを保つためには驛員の訓練に待つより外なしと鐵道中樞の機關、列車、貨物、保線、檢車各區別自體警護班長になほ一段と狀況に應じた訓練を驛員に施すやう慫慂するとともに二十四、二十五日の兩日全驛員六百名に對して防毒面に付て講習を實施することゝなり第一日は午前十時より驛教育室に三百名參集野鐵司令部山崎少尉、驛職員高橋準備少尉兩氏から防毒マスクの構造、有事の着裝、保管ならびにマスクの諸知識を詳細に講演し一朝有事の場合マスクは持つてゐるが使用方法その他が判らないと云ふが如きことなからしめて正午頃有意義裡に終了した

高射機銃操作訓練

二十四日午前十時四分空襲警報は發せられた同時に敵機は新京驛構內列車區目がけて急轉直下燒夷彈を投下して逃走した、目下列車區は火焰に包まれ附近一帶危險に瀕すとの想定下に新京警護隊では全隊員出動列車區自體警護班と協力、交通整理、避難所誘導、消火作業に大童の活動を開始して被害を最少限度に喰ひ止め鐵道中樞機關への飛火を鮮かに阻止した 午後一時同隊では營庭に於て橋本隊長指揮のもとに敵機○機襲來の想定で隊員の高射機關銃操法訓練を實施して敵機空襲に備へると共に午後三時三十分性懲りもなく國都を襲つた敵機の行動を逸早く探知、各所に連絡する三個所の對空監視哨員の動作を實地に訓練する一方廣場中心の交通整理驛內乘降見送り客の避難誘導等八方に一糸亂れざる統制裡に縱橫の活躍をなして敵機を擊退多大の成果を收めた

歸省費を獻金

吉林省扶餘縣陶賴昭柴田農場柴田新之助氏は內地歸省を取止め旅費百圓を二十四日國防獻金として獻金した

燈管下に暗躍の不良群に光る眼

司法陣常に不動！語る谷口科長

多季警護訓練第二日目國都の司法陣首都警察廳司法科の谷口科長は管制下に於ける司法陣について左の如く語つた

司法科の使命は常に不變だ、警護訓練だからといつて別に變りがあるべきでない、只管制下の暗がりを利用して活躍する犯罪分子、不良分子の取締檢束に當つてゐるが、特に東京邊りで時々發見される事柄であるが警護訓練下の暗闇を利用する痴漢等の未然防止をやつてゐるが昨夜は幸にそんな不德漢を發見しなかつた一般に市民が非常に緊張してゐる關係と思はれる今日迄の司法事件としては訓練に當つてゐる係員が全市一圓に監視してゐると云ふ點もあるが結構なことだ

和順署管內

二十三日午前十時四分伊通河を境にした和順署管內の管制狀況を見ると、係員の目覺しい活躍は機敏に忽ちの中に避難民を農家の廣い庭內に收容只路上に荷馬車や客馬車が置き忘れたかの樣に止まつてゐる、その間を豚の一群がのんきさうに徘徊してゐる、この管內の農家構造は大部分が四圍を煉瓦或は板塀で圍んである關係で此處に避難した者は一歩も外に出られない所からして避難交通整理はこの所全く最上の上と見られる

各地から見學團

遊覽バスで繰出す

全滿にトップを切つて實施された新京特別市多期警護訓練狀況を見學せんと全滿各主要都市より防護機關に關係する人々の見學者は昨日より續々來京、市公署第二會議室を控室に參集、遊覽バスによつて統監部の巡視と同行し市內各所に於て行はれる演習に參加する衛生奉公隊防毒班、義勇奉公隊防火班の活躍狀況をつぶさに視察し廿六日統監本部の講評を聽取して退京する豫定である

日滿自轉車業者懇談會

滿洲自轉車輸入統制組合問題を繞り最終的解決を與へんとする政府當局、統制組合及び日滿業者各代表の呉越同舟の自轉車組合懇談會は二十四日午前十時より日滿軍人會館に於て開催隔意なく意見の交換の後、圓滿妥協點を見出して午後三時散會した

藤田男急逝

【東京國通】藤田組社長男爵藤田平太郎氏は母堂きた刀自葬儀のため入洛京都ホテルに滯在中廿三日午前七時十分急性肺炎のため逝去した、享年七十二

あす(廿五日)

△多季警護訓練第三日
△滿洲新聞子供大會 於西廣場滿鐵クラブ午前十時
△馬政局會合 於日滿軍人會館午前十時

歷史
△菅原道眞薨ず

今晩の放送

▲七・三〇(新京)講演「本年度市縣旗聯合協議會開催に付て」協和會中央本部總務部長皆川豐治▲七・四〇(大連)音樂レポート「子供の報告」大連常盤尋常小學校兒童▲八・一〇(東京)講演「持久戰と家庭生活」法博下村宏▲八・三〇(東京)連續物語「宮本武藏」(十四)德川夢聲▲九・一〇(東京)管絃樂歌劇「バグダットの大守」哈爾濱交響樂團

惜れる左團次
梨園に大きな打撃

梨園の大御所と謳はれてゐた市川左團次は二十三日病革まつて遂に長逝した、高島屋を今玆で失つたことはわが歌舞伎界にとつて大きな打撃であり一抹の淋しさを覺えるものだ、彼の得意とする藝のうち「慶安太平記」の丸橋忠彌「番町皿屋敷」の青山播磨「修禪寺物語」の夜叉王などは外の追[illegible]中の到底眞似の出來ない所謂御家藝で、彼の藝風には橘屋のやうな柔いところはないが、いつも舞臺を踏むごと「大統領」と大向ふを唸らせて止まなかつたのは高島屋が斯界に稀しい人格の反映でもあつたらう

この社會は常人の考へられない私的生活で、ふんだんにスキャンダルをばら撒くものであるが、左團次に限つてさうした噂はなかつた樣だ、勿論それには昔新橋で七人組といはれた富子夫人の內助の功を見逃すわけには行くまいが、左團次が常に讀書を友として人格に磨きをかけてゐたせゐであらう

今後當然後繼問題が起きるだらうがさき頃から養子の話が飛んでゐた弟の市川莚松が繼ぐのではないだらうか、名優左團次の死はファンの失望もさることながら一番落膽してゐるのは相手役であつた市川松蔦ででもあらうか【寫眞は左團次の當り役夜叉王】

ニュース映畫館の早急出現要望
第一回特殊會社弘報會議で

今回決定された特殊會社宣傳要綱案に基く第一回特殊會社弘報會議は廿三日午前十時から國務院講堂で一時間半に亘つて開催された、出席者は濤田總務廳次長、武藤弘報處長以下弘報機關關係者各社代表等四十數名で濤田次長の挨拶、武藤弘報處長の說明等ののち森田弘報協會理事長から新聞通信に關する說明要望を開陳次いで甘粕滿映理事長からは「月三本づゝ文化映畫を作る計畫だから利用援助を乞ふ」と映畫宣傳の詳細につき提唱意見を述べ更に滿洲蓄音機會社からも「南新京に月十二萬枚のレコード製作能力ある工場を新設中だから宜しく賴む」など希望があり更に各社側から防諜に關する意見やニュース文化映畫館の至急新設要望など傾聽すべき意見も續出

今後月一回づゝ會合をすることと弘報處に人選を一任した幹事により適時幹事會を開くことなど申合せた上一同滿映撮影所を見學した

聖林スターの年俸
初めて明るみへ

華やかな生活振りで世の若人の憧憬の的となつてゐる映畫俳優の俸給は、洋の東西を問はず極秘とされてゐるので、興味の的となつてゐるが、最近ワーナーで一會計係の不注意から一部が明るみへ出されてしまつた

それによると製作部長ハル・B・ウォルスの年俸が二十六萬弗、暴れ役を賣物とするジェームス・キャグニーが二十四萬三千弗とあるから週給約五千弗、「進め龍騎兵」や「ロビン・フットの冒險」等の劍戟スタア、エロール・フリンは十八萬一千弗であるから週給約三千五百弗といふ事になる

これは小切手製作中外部に洩れたのだが此の會計係は當然馘首されてしまつた

「お茶漬味」
製作中止か

大船小津安二郎監督の歸還第一作は池田忠雄と共同執筆のオリヂナル・シナリオ「彼氏南京へ行く」と決定實戰を經驗した同監督がどのやうなスタートを切るか注目されてゐたところ題名の「彼氏」といふのが時節柄面白くないといふ內務省映畫檢閱課の意向により更に「お茶漬の味」と改題、去月廿一日內務省に脚本を提出、事前檢閱を行つたところ脚本の一部改筆を申渡された

理由は、映畫の內容が有閑マダムを取扱つたものでその臺詞がリアルに描けすぎてゐるのが風敎上觀客に影響を與へはしないかといふ懸念からであるが改作後の脚本は未だ檢閱當局に提出されず、小津安二郎監督としてはこのまゝ中止する意向らしい

万華鏡

テーブル越しに徳利が飛んで來たびつくりして見ると頭髮はリーゼンスタイル所謂ハンサム型と云ふおサムラヒが一人の別嬪さんにとつちめられてゐる、その小型巴御前の御名前は大新京の濤川あけみさん▼然しそれは一二ヶ月前の事で最近どうした事かすこぶる神妙になつて來たまあ女の子らしくなつて來た、それと同時に馬鹿に色氣が彼女の肢體に滿ちて來た▼「君近頃戀をしてゐるのではないか」と問うてみると彼女「戀をしてゐるのぢやない、戀人が欲しくなつたの、新京には隨分男がゐるけれど一人位無いのかしら、若しなければ妾東京へ歸るわ！」▼その昔シャムに勇名を轟かせた山田長政とその一黨があれだけ地盤を築いてゐたにも拘らず今日その影だにもなきは如何、それは女の子が行かなかつたからですと誰かゞおつしやいました▼然りこの大陸に然も國都から一人の女の子も逃がしたくないです、濤川さんのハートを射るオサムラヒが現はれないとは男の子の恥です…

帝都キネマの「最後の一兵まで」と「秀子の應援團長」を組んだ今週は前者の吸引力斷然強く強引に客足を引いて初日は元宵祭の旗日でもあつたのでざつと四千五百圓を突く揚り、「白蘭の歌」以來の成績である▼「最後の一兵まで」はこれを宣傳映畫としてみる時は相當ハッタリの利いたものであることが看取出來る、純粹な映畫的な觀點からいへば「五人の斥候兵」の誠實を懲目なく良しといひたいが、大衆への迫り方を主眼としてみる時、やはりかういふ手を用ひることが必要とされるのではないかと思はれた▼戰爭の頭腦參謀本部の苦惱を描いたといはれるが、これは左程の密度はなくマティアス・ウィーマン扮するリンデン少佐の英雄的誇張の方が目を惹いた

大正九年十一月十四日 第三種郵便物認可
康德七年(昭和十五年)二月二十五日 新京日日新聞 (日曜日) 第六千百五十四號 (一)

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三-二二九・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 和波肇
印刷人 水越內之介

生鮮食料品の需給を合理化す
市場、生必統合具體策決定

時局物價政策の一環として生鮮食料品の需給調整並びに價格の適正維持を圖るため政府で昨年來計畫を進めてゐる生活必需品會社の中央卸賣市場統合措置はいよいよ具體的統合方策の決定を見るに至つたので近く實行に移すことゝなつてゐる、中央卸賣市場の統合に當つては市場の卸賣人たる中央卸賣市場株式會社を生活必需品會社に合併の方式は大體左の如きものと見られてゐる

一、中央卸賣市場は拂込資本金額三百五十二萬圓(內譯=哈爾濱七十萬圓、吉林七萬圓、新京百萬圓、奉天百五十萬圓、牡丹江二十五萬圓)を以て生活必需品會社に合併し、合併後市場會社は解散する

一、市場會社の純資產は評價委員會に諮つて決定するが、純資產にして拂込資本金額を超える部分に對しては合併の際これに相當する金額を生活必需品會社より市場會社の株主に交付する

一、市場の開設者たる市は合併前に民間所有の市場會社株を拂込金額によつて肩替りする、これに要する資金は政府より貸下げる

一、市所有の市場會社株は生活必需品會社において買收するが、これが所要資金は拂込臨收か或ひは借入金によつて賄ふことになるものと見られ、合併に當つて必需品會社の增資は行はぬ模樣である

なほ生活必需品會社は前記五中央卸賣市場會社の合併と同時に既に市場會社開設豫定の佳木斯、安東、錦州の三社に對してはその營業權を買收することゝなつてゐる而して右市場會社合併による生活必需品會社卸賣市場の實質的統合は大體三月中には完了し、四月上旬より市場は新たに必需品會社の市場部として計畫的に運營されることゝなるものと豫定されてゐる

治安工作に輝く成果
楊靖宇匪を殲滅
匪首楊、最期を遂ぐ

治安攪亂の最大元兇といはれた共產匪巨頭楊靖宇は急追する日滿討伐隊のため廿三日午後通化省濛江縣城西南方において發見され包圍攻擊の後遂に同匪團は殲滅され匪首楊は最期を遂げた

楊靖宇匪殲滅に關し〇〇部隊では廿四日午後左の如く發表した

總司令楊靖宇に率ゐられる東北抗日聯合軍は二月廿三日午後四時に至り通化省濛江縣城西南方約五キロの四百九十高地において當隊南地區討伐隊のため潰滅、匪首楊靖宇は最期を遂げたり

抗日聯合軍崩壞
日滿軍警協力一致の功績

殊勳の〇〇部隊北部中佐玉岡少佐等はこの度の楊靖宇射殺潰滅の功績は南地區討伐隊日滿軍警一致協力の賜であると前提し左の如く討伐の苦心談を語つた

楊靖宇は滿洲に於ける共產匪の元兇で北京大學、保定軍管學校を卒業一九二七年蔣介石の國民革命軍北伐當時營長として出征共產黨に加與し國共分裂は河南省一帶に共產運動をなしてゐたが一九三〇年中國共產黨中央執行委員の指令を受け奉天に潛入以來滿洲省委を組織して滿洲に於ける中共系共產運動の牛耳を執り活躍してゐた一九三二年磐石に於て東北人民革命軍を組織し、次いで一九三八年初頃よりこれを東北抗日聯合軍に改組し、その傘下には魏極民、全光、方振聲、陳翰章、金日成、朴得範、崔賢等の梟雄を集め一時は約二千の部下を有し、これを三方面軍一經營旅に編成し、主として吉林、通化、間島の三省に跨り王道の光を遮り暴威を逞しうし、民衆を塗炭の苦しみに呻吟せしめてゐたものである、今次討伐開始以來、日滿軍警の絕大なる努力により昨年十一月濛江、樺甸縣境において急追、それ以降部下は四散し糧彈道を遮斷され四分五裂窮窘の極に達し、手兵何れも離散し收拾の途なき狀態に陷り、特に本月中旬頃は腹心の手兵僅々五名を伴ひ濛江北方北區を彷徨してゐたが遂に濛江の一寒村たる保安村部落に姿を現はしたところを同村々長以下四名の通報により討伐隊のため遂に射殺されたものである、まことに梟雄の末路哀れといふべきであるが、彼の死により抗日聯合軍の統制は全く紊れその潰滅は近き將來にあるを思はしめる殘匪の魏、陳、金、朴、崔などはなほ所在に餘喘を保つてゐるが、討伐隊はこの機に乘じ一擧にこれを潰滅し三省の肅清を完遂せんことを期してゐるなほ楊は享年三十七、死體を腹心の部下に檢定させたところ楊なることが確認された

殘存共匪動搖

共匪楊靖宇射殺は國內治安工作の著しき進展を實證すると共に東邊道振興工作に大きな影響を齎すものとして注目されてゐるが、一面彼がソ聯共產黨大學の出身であり現存共匪の最高指導者として赤化工作に暗躍してゐた關係上、楊の死により赤色分子の武裝工作は全く統制力並びに組織力を失ひ討伐隊の急追と相俟つて殘存共匪の滅亡は時日の問題となるに至つた、從つてかゝる治安工作の滲透は王道國家建設の新段階を意味すると共に從來共匪の蠢動で共進展を阻止されてゐた各種開發事業も一層進捗を豫想されるに至つた、なほ楊の死は殘存共匪に對し多大の影響を與へその精神的動搖は著しく歸順の意思表示が各方面に顯著になつたことは特に注目されてゐる

西谷督索班猛追擊

滿洲國建國以來九ケ年に亘り山嶽重疊たる東邊道に蟠居して反滿抗日を叫び良民を苦しめてゐた楊靖宇は遂に惡運盡き南地區討伐隊統率の下に日滿軍警一體となつて討伐敢行中の通化警察隊西谷督索班の猛追擊にあひ濛江縣東南方三キロの地點で最期を遂げた

正義の刄にもろく潰ゆ
楊の懷中に六千餘圓

世界の寶庫東邊道開發の癌であつた楊靖宇が遂にわが精鋭の前に醜い屍を曝すに至つた通化、間島省一帶住民はまさに霖雨のあとに晴天を迎へる思ひに相違ない楊匪掃蕩のため舊臘以來南地區討伐隊では日滿軍警一體となつて涙ぐましい討伐をつゞけ來つたが、廿三日午後三時すぎ濛江縣南方三キロの保安村に楊らしき匪が現はれたとの部落民の報告があつたので通化省西谷警佐が本部員五名、唐警察隊十名を指揮先行せしめたところ午後四時濛江縣南方二キロの高地で人影を發見直ちに濛江河岸に追擊し午後四時三十分標高四九〇高地に追ひつめたところ猛然抵抗したのでやむなく射殺したものである、死體は元楊靖宇の腹心の部下だつた數名の立會檢證により楊に相違なき旨確證されたが楊の携帶品は左の如くである

モーゼル拳銃一、同彈藥百六十、コルト二號一、同彈藥三十、コルト三號一、同彈藥四十、現金六千六百六十圓、その他手帳、時計、萬年筆

電業職制大改正
發送電の大擴充に萬全期す

重工業、化學工業を中心とする電力需要の激增に即應して滿洲電業では發送電の大擴充計畫を樹立して電力供給に萬全を期してゐるが新事態の動向に應ずるため現行職制に大改正を加へることになり二十四日新職制及びこれに伴ふ人事異動を發表した、今次の改革の主眼點は工務部の機構改正、經理部、用度課の組織改正並に支店に於ける業務管理組織でその要點左の通り

・社長室の新設 總務部の一部二課一出張所制を廢し社長室二課制(文書、人事二課)を採用、人事課に厚生係及び養成所を新設した

・工務部の新機構 イ、建設局新設 七年度以降に於ける尨大なる建設工事を圓滿に遂行するため從來の建設課を以てしては到底これに應ずることが出來ないので工務部外局たる建設局を新設して設計決定後の建設工事に專念せしめることになつた同局には本部に工事課を置き大連、安東、奉天(第一第二)新京、牡丹江に建設事務所を設置してゐる

ロ、設計課新設 現行建設課業務より工事施行を除いた技術施設の實施計畫並に設計に關する業務を專門的に擔當する設計課を新設した

ハ、運轉課の新設 現行の技術課を運轉課に改稱した

ニ、建築事務所新設 建設課建築係も建築事務所に昇格した

・用度課の機構改正 建設局の尨大なる建設工事に即應して、用度機構の一元化に再檢討を加へ新京、哈爾濱、牡丹江及び延吉に分所を設置する外は原則として支店獨自の用度事務はこれを各支店に還へした

・營業部事業課新設 鑛山その他の特殊新設事業への電力供給の重大性に鑑み事業係を課に昇格せしめた

・東京事務所新設 東京出張所を東京事務所に昇格

・支店に於ける營業業務管理組織の採用 從來支店の營業々務は係別乃至班別に業務處理の重點が置かれてゐたゝめ業務の綜合能率の低下を來してゐたのでこの缺點を補ふべく營業現場に於ける計畫調査又は專門的業務に屬する特殊業務と分業々務を區別し業務係と各營業所を綜合一貫的に組織化することになつた

・送電事務所 從來送電事務所は本店工務機構に編入してゐたが今回卸賣支店として獨立せしむることゝなつた

機革人事異動

滿洲電業では廿四日工務部を中心とする機構改革を正式發表したが、これに伴ふ主なる人事異動は左の通り(括弧內は舊職名)

△工務部 建設局長 前川和(工務部次長) 工事課長 永野義男(調查役) 新京建設事務所長 大島喜一(新京支店長代理) 牡丹江建設事務所長 畑生武雄(哈爾濱支店長代理) 設計課長 谷澤惣四郎(建設課長) 運轉課長 小旗直(技術課長) 建築事務所長 福島福二(建築課長)

△社長室 養成所長 藤原亨(舊養成所長)

△經理部 奉天出張所長 宮崎三好 前所長心得

△營業部 事業課長 橫川秀雄(事業係長)

△支店 奉天支店長代理 宮啓之(鞍山支店長代理) 哈爾濱支店代理 野島一郎(新任) 營口支店 鹽谷要藏(四平街支店長) 西安支店長 河村槇次郎(新任) 四平街支店長 樺島信夫(西安支店長) 吉林支店長代理 森本敏雄(新任)

臨時閣議

【東京國通】政府は物價機構改革問題その他當面解決を急がねばならぬ案件處理のため廿五日は日曜日にも拘らず午後一時より首相官邸に臨時閣議を開くことゝなつた

赫々不滅の武勳
光榮の英靈百九十九柱
優賞六名海軍第十一回行賞

【東京國通】畏き邊りでは支那事變第二十回(海軍第十一回=戰死、戰傷病死又は傷病死者)論功行賞の御沙汰あらせられ二十五日賞勳局並に海軍省より發表された、この光榮に浴したものは合計百九十九柱(將校二十六柱、軍屬九柱)うち金鵄勳章授賜者は七十八柱でそのうち昨年十一月四日大編隊を率ゐて成都を空襲し敵戰鬪機十數機と猛烈な空中戰を演じてその數機を擊墜、遂に壯烈な自爆を遂げた海鷲の名指揮官奧田喜久司少將以下六名に對して特に優賞の御沙汰を賜つたまた軍屬として行賞の光榮に浴したものゝうちには安慶附近の作戰に於て名譽の戰死を遂げた同盟通信社社員下津久男(東京府)讀賣新聞社社員若月雄三郎(千葉縣)兩氏の報道戰士も加へられ旭八を賜つてゐるが今次行賞は昭和十二年十二月二十九日から同十四年十二月九日までの間に於て中支(揚子江流域及奧地)並に南支(廣東附近沿岸方面海南島及沿岸方面)に於ける戰鬪に於て戰死或は戰病死した名譽の勇士である

優賞(六名)

△航空作戰の名指揮官 功三旭中綬章 海軍少將 奧田喜久司(神戸市灘區灘南通六丁目二三八)

△歷戰の名機長 功五旭七 航空兵曹長 小泉靜馬(靜岡縣濱松市旅籠町七一)

△漢口邦人引揚當時より海南島攻略まで陸戰の累勳の勇士 功五旭七 一等兵曹 小濱常五郎(佐賀縣西松浦郡黑川村大字眞手野三一六〇)

△中原制空の驍、鍊達の荒鷲 功五旭七 一等航空兵曹 田草川務(山梨縣東八代郡石和町川中島一九八) 功五旭七 一等航空兵曹 河口義熊(山口縣熊毛郡三丘村大字小松原九四三)

△荒鷲の珠玉 功六旭八 三等航空兵曹 神田嘉幸(群馬縣多野郡美土里村大字篠塚三三)

東亞經濟懇談會
理事に滿洲本部長丁鑑修氏
新陣容決定

【東京國通】東亞經濟懇談會では今回社團法人改組に伴ひ新陣容の決定をみ、二十四日發表された

△會長 鄉誠之助
△日本本部長 八田嘉明
△理事 鄉誠之助、中川正左、八田嘉明、丁鑑修(滿洲本部長)寺崎英雄(蒙疆本部長)曹汝林(華北本部長)陳紹嬀(華中本部長)安宅彌吉、青木鎌太郎、有吉忠一、津田信吾(ほか四名は交涉中)
△常務理事 中川正左
△評議員 從來の常任委員全員を選任
△幹事 出光佐三、片岡安、中松眞鄉、藤山一郎、明石照男
△參與 從來の參與をそのまゝ委囑
△顧問 池田成彬、小倉正恒、賀屋興宣、南條金雄、伍堂卓雄、酒井忠正、結城豐太郎、三好重道、宮田光雄

なほ日本本部の役員は大部分右總本部役員の兼任となつてゐる(寫眞は丁鑑修氏)

小麥粉の賣下 小賣價格改正
廿五日實施

政府は原料小麥收買價格引上げに對應し小麥粉賣下小賣の兩價格を改正、廿五日より實施することとなり廿四日左の如く發表した(單位圓)

	賣下價格	小賣價格
特殊品	八・〇九	八・三二
普通品一等	七・〇九	七・三二
普通品二等	六・〇九	六・三二

經濟部當局談

小麥粉賣下小賣兩價格改正に際し經濟部は二十四日左の如き當局談を發表した

曩に小麥粉專賣創設に當り小麥粉の價格については食糧自給自足の見地に立ち他の食糧價格との權衡を適切にし、小麥增產並に代用粉獎勵の趣旨に合致せしめる如くこれを決定せられたのであるが過般他の主要糧穀とともに小麥の收買價格につき約二割方の値上げが斷行されたため小麥粉の製造原價も亦これに伴ひ自ら增昂しその收納價格の引上げを行ふを要するに至つたので賣下げ價格についても改正の必要に迫られ今回の改正を行ひ二十五日より實施する、今回の賣下げ價格改正は單に原料小麥の收賣價格及びこれが包裝用麻袋公定價格の値上げ並びに原麥の蒐貨配給諸掛りの增加に基因するのみであつてこれにより毫も專賣利益金の增加を企圖するものではない、尚今回の値上げに際し一般消費者の負擔を考慮し各等級間の値開きを增大して各一圓間差とし又收買人の金利及び稅金負擔の增加を考慮し、從來の十五錢を十八錢に增加した、よつて販賣人の側においてもよく本價格改正の趣旨を理解し右價格を嚴正に保持せられる樣切望してやまない次第である

專賣價格は一割強引上げ

二十五日より實施される小麥粉專賣價格の舊價格に對する引上げ額左の如し(單位圓)

	改正價格	引上額
政府賣下價格		
特殊品	八・〇九	・九三
普通品一等	七・〇九	・八六
普通品二等	六・〇九	・五三
販賣人販賣價格		
特殊品	八・三二	・九六
普通品一等	七・三二	・八九
普通品二等	六・三二	・五六

貴院豫算總會

【東京國通】二十四日の貴族院豫算總會は午前十時廿五分開會

・岩倉道倶男(公正) 東京、下關間の新鐵道幹線計畫は十五年後でなければ出來ぬとのことだが、東京大阪間に專用の自動車道路を設けては如何

・松野鐵相 東京、下關間の鐵道幹線を十五年間でやるのは物動計畫の關係上今のところ致し方ない、自動車の利用は研究したが、これには莫大な費用がかゝり鐵道をもつてした方が經濟的である

・中山太一氏(研究) 戰時產業と平和產業とは車の兩輪の如く倂せ考へて貰ひたい、平和產業は多く中小商工業によつて擔當されるが、その轉業、失業對策は實を擧げてゐるか又不適當な代用品の生產を獎勵することは國家の經濟力を弱め國民生活に損害を及ぼすと思ふが如何、なほ國內で生產する原料資材の第三國への輸出の制限ならびに禁止が必要と思ふが如何

・藤原商相 平和產業はこれを重視しなければならぬが今日軍需工業及び準軍需工業に力を入れてゐるのは已むを得ざる結果のもので將來平戰兩方面について國內の經濟實力を養つて行く考へである、中小產業は資力も弱いし多數の國民が關係してゐるところであるからこれを保護助成して行くべきである、原料資材の第三國向輸出の制限禁止には御同感である

と答辯午後零時十一分散會

言ひ盡した……
判決を待つ齋藤隆夫氏

【東京國通】大詰に迫り何處でどう破裂するか、膨れあがつて見當もつかぬ齋藤問題の火中に揉みに揉まれた當の齋藤氏は二十四日午後一時きつかり懲罰委員會室に入り委員長席の左側に着席、同十分から三時廿五分まで衆議院中の神經を集めて第八回懲罰委員會が開かれた、この間正味二時間十五分、守衞に勞はられるやうにしながら直ぐ玄關へ、例の顫へる頸が昂奮になほ一層ゆれる

大體言ふことは言ひ盡した心算だが、或は言ひ殘した點もあるかも知れぬ併しもう二度とは言はれない、何う判決を下すか私はそれに從ふだけだ

これだけ言つてさつさと品川の自邸に引揚げて行つた

貴院本會議

【東京國通】廿四日の貴族院本會議は午前十時十一分開會

一、牧野法中改正法律案
一、輸出毛織物取締法案

を委員附託とした後一般的質疑に入り建部𨫤吾氏(同成)より事變處理、東亞新秩序につき質問、米內首相、松浦文相、有田外相より答辯あり午後零時十分散會

登退廳時間繰上げ
建議案提議

【東京國通】民政黨の堤康次郎氏の提議にかかる登廳退廳時間繰上げの決議案は二十四日の各派交渉會で協議の結果これを決議案とせず建議案として今議會に提案することゝなつた

各派交渉會

【東京國通】衆議院では當面の重要問題たる[illegible]に關し各派決議案を提出することに決定、廿四日午前十一時より議長應接室で開かれた各派交渉會で協議の結果決議文案は各派政務調査會長に一任した

東滿第一線の日滿軍警慰問

[illegible]

內閣情報部長
更迭斷行

【東京國通】政府は內閣情報部長の更迭を斷行することに決し、現內閣情報部長橫溝光暉氏は岡山縣知事に轉出に決定、岡山縣知事熊谷憲一氏を起用することになり、廿五日の臨時閣議で決定の上二十六日發令される

岡山縣知事 熊谷憲一 內閣情報部長へ
內閣情報部長 橫溝光暉 岡山縣知事へ

滿航社長に
大江中將就任

[illegible]

城島社長歸京

[illegible]

人事往來

村田秋平氏 原信道氏 大瀧彌助氏 中野誠一氏 井上幸一氏 牧野豐助氏 關山富士一氏 山本季三郎氏 唐津秀夫氏 吉本木人氏 堀德氏 片山武次氏 宇田一氏 佐野由也氏 松野傳氏 鈴木道義氏 前木喜久一氏 永谷武雄氏 [illegible]

社說 獨逸と物資補給問題

現在の情勢よりして獨逸はまだ到底物資の自給自足が出來ぬ事情にある。したがつて中立國から資源がいかに供給されるかゞ問題とならざるを得ない。

獨逸の不足物資の最も重大なるものは、棉花、羊毛、ゴム、錫、銅、石油製品、鐵鑛、コーヒー、ココア等である。このうち、石油についてはルーマニアの油田の全餘剩產出は年五千萬バーレルで、これを全部獨逸が獲得し得れば、獨逸の平時消費量を補給し得るが、しかし戰時の需要には充分でない。またダニューブ盆地からは生產原料よりもむしろ食糧とか動物性脂肪とかを獨逸に賣ることが出來るが、しかし獨逸と中立國との通商をこれ以上擴張するには、經濟支配力をもたらす危惧、或ひは支拂及び輸送等といふ困難に遭遇する。獨逸としてはバルチック海及び陸上輸送に頼らなければならないが、この陸上輸送はロシア及びルーマニア資源からの莫大な原料を取扱ふには不充分であるとされてゐる。獨逸の鐵鑛資源の不足は、石油の不足よりも更に重大である。これは近接の中立國から簡單に補給出來ないからである。一九三八年に獨逸の鐵鑛必要量は約三千三百萬噸であつて、その中九百萬近くは瑞典から、二百五十萬はユーゴースラヴィア及び白耳義から輸入した。一千萬は佛國、スペイン、北アメリカ、ニューファウンドランド等からの輸入であつたがこの輸入は今では非常に困難となるか或ひは不可能となつたのである。一九一四年乃至一八年の獨逸ではローレンの莫大な鐵鑛產地を有してゐたが、今ではこれはマヂノ線の彼方の佛領にある。獨逸は石炭不足の危險をも感じてゐる。貧礦處理に努めてはゐるが需要が大である。獨逸產業界の全力をあげての操業の結果、石炭輸出力の減少、炭礦勞働者の增加、勞働時間の延長等が行はれたにも拘らずすでに今次大戰前から石炭不足の危險が叫ばれてゐたのである。若しポーランドの豐富な炭坑が手に入らなかつたら、獨逸は間もなく激しい石炭不足に見舞はれたに相違ないのである。

かかる諸事情よりして民間消費の削減といふことが殆ど信ぜられぬくらゐの程度にまで實行されてゐるであらうことは容易に察知される。それにしても戰爭遂行のために不可缺な資源は何としても獲得しなければならぬ。われらは戰局展開の背後に、かかる物資の動きをはつきりと見ることが肝要である。

敵軍の攻勢態度 片鱗すら見えず
十六日—廿三日戰況

【南京廿三日發國通】支那派遣軍報道部では廿三日全支における去る十六日以降廿三日までの戰況概要を發表したが、要旨左の如し

一般狀況

敵は冬季攻勢における全面的敗北に引續き廣西省においては賓陽附近の大潰滅戰によつて秘藏の機械化部隊等の損失により中央軍は再起不能の痛擊を蒙り、さらに綏遠省においても五原、臨河附近の大勦滅戰によつて全軍潰亂の結果を招いた、今週においては全支何處にも敵の積極的攻勢は片鱗すら見ることが出來なかつた、之に反しわが軍の不斷の攻擊は各地において果敢なる展開を示し最早重慶の吹きならすデマの笛には民衆も第三國もこれを信じようとはしない、廣西、綏遠兩戰線に測り知れぬ底力を示したわが軍は敵のデマを默殺しつゝ次期作戰に待機してゐる、地域的に見た戰況を細述すれば左の如し

北支方面

元山東省政府主席沈鴻烈の直系魯東行營主任李尖良、魯東抗日聯合軍總司令趙寶元、第八路軍系山東縱隊第五支隊長高錦純等の大小匪團合計約二萬は山東半島東部地區にあつて蠢動を續けつつあつたが、わが軍の大掃蕩戰は陸海軍の緊密なる協力のもとに七日以來開始され即墨、日莊、招遠、龍口を連ねる一線上から進擊を開始した奧、井平、秋吉、山崎の各部隊は白雪を蹴つて一路東進、隨所に敵を潰亂させつつ十七日には維陽、芝罘の線に進出、これと呼應して十八日朝佐野部隊は半島南端の要衝石島の敵前上陸に成功し茲に敵の據點文登縣城包圍態勢はととのひ十九日午前十時これを攻略、さらに敗敵を急追して突進し廿一日遂に半島突端の榮城はわが手に陷ち本作戰も一段落を告げた

中支方面

イ、浙東方面に於ては蕭山奪回の機を狙ひつゝ第十集團軍長劉建緒麾下の敵はその周邊に來襲し來つたゝめわが軍は機先を制して十四日夜半行動を開始、蕭山、紹興、諸曁を結ぶ三角地帶山岳に據る敵に對し眞田、秋田、菅原、武藤、森田、影山、宮島、島田、高原等の諸部隊が一は蕭山、義橋の方面より、一は蕭山、龕山の方面より迂廻進擊しつゝ巧に包圍圈を壓縮し十七日遂に捕捉、殲滅戰は最高潮に達し廿日までに敵第六十二、六十、七十九、百九十、百九十二、抗日自衞第八の各師はわが包圍網中に四散潰滅し去つた、本作戰に於て十九日捕虜となつた第六十九師副官は劉建緒は爆死し、第百九十師長柳餘定は敗戰の責を問はれ銃殺されたと語つて居り金華、寧波には特に深刻なる動搖を與へた

ロ、浙東作戰に呼應して突如行動に移つた櫻名、細谷、北山、續山の各部隊は江南一帶の敵を震駭させつつ十九日夜蕪湖東方約四十キロの水陽鎭を陷れ廿一日更に郎溪、建平を攻略、敵第百八師、第五十二師江南挺進隊を擊滅しつつ追擊を續けてゐるこれがため溧水、高淳、溧陽附近の敵はわが包圍圈より脱出せんとして狼狽し廣德、宣城、南陵、寧國の敵また浮足立つてゐる

南寧方面においては本週は一發の銃聲もなく敵は武力抗戰の意なく宣傳抗戰を續けるのみである

陸軍航空部隊

イ、高田部隊は十六日より廿日に至る間連日綏遠地區に飛び臨河、善[illegible]、百川堡、烏拉素子、東勝、杭錦旗、壩海子、群王旗の各地敵情搜査及び爆擊

ロ、杉本部隊は十六日より廿日に至る間連日山東省東部作戰に協力

ハ、田中部隊は十六、十七の兩日に臨河、善覇を反復爆擊十九日大村を攻擊

ニ、山口部隊は十七日山西省潞安地區を偵察

ホ、河村部隊は十六日より廿日まで連日第二次浙東作戰及び南京南方作戰に協力

ヘ、今西部隊は十七日朱需山(漢口西南約四十キロ)の敵を爆擊、十八日以降河村部隊と同樣南陵、宣城、臨安、緒曁、廣德、郎溪等の敵を爆擊す

建國節 宮廷の御儀

興亞の曉鐘が高らかに鳴り響く聖戰下第四年の春玆に三月一日の第八周年の建國節を迎へる滿洲國では蘭花の香り彌や高き帝室の御繁榮を壽ぐと共に王道國家の隆盛と五族四千萬の國民が歡びの赤心を披瀝して慶祝し奉るのであるが、此の日皇帝陛下に於かせられては文武顯官の朝賀並に記帳を受けさせ給ひ、午後十時卅分簡任官以上進宮、同十時四十分梅津軍司令官進宮、同十一時卅分日本勳三等、高等官三等以上が進宮、觀民樓にて梅津軍司令官先づ御慶祝の辭を奉り續いて日滿兩顯官の朝賀並に參賀を受けさせられ午後二時から在京外國使臣等の御慶祝を受けさせ給ふ、なほ薦任文武官勳二等以上には午後二時から四時まで記帳を差許される御豫定であるが、本年は時局柄御祝宴は御取止め遊ばされ宮廷の典禮はいと簡素に執り行はせられると承はる

大興 電々 株の開放決る 民間遊資吸收積極化

國內證券市場の育成、民間遊資の吸收を企圖して昨年末斷行された電業株開放の結果は頗る順調を示したので國內特殊株開放機運は年明けとゝもに濃化し本年度は引續き大興公司株(中銀特殊)電々株(滿鐵持殊)等の國內開放が計畫されるに至つてゐる、何れも六乃至七分配當の優良株であるため前回の電業株(七分)と同樣市場消化については大した危惧も懷かれてゐないが、兩株とも未だ國內發行が搖籃期にある際とてその大半を興銀直系たる滿洲興業證券において引受けしめるとゝもに日本の市場を打診し日滿賣出比率に伸縮性を持たせる等關係當局は極めて愼重な態度を持してゐる

即ち大興公司株は公開株數十五萬株中七萬五千株を右興業證券に、電々株は公開株數七萬株中二萬株を滿洲國內で、殘り五萬株を日本において賣出しを豫定してゐるものゝこの日滿比率は情勢によつて伸縮性を持たし且つ國內發行分の半分は興業證券引受けの筈となつてゐる

賣出價格は大興公司株(二十五圓拂込)卅一圓乃至卅一圓五十錢と見られ、電々株(五十圓全額拂込濟)は六十一圓以上と豫想されてをり、賣出期は大興公司分は三月中旬迄、電々株は同社增資拂込時期たる五月下旬と見られてゐる

農林省の態度 一兩日中に闡明 產組保險經營問題

【東京國通】政治的重大問題化した產業組合の保險會社經營問題についてその責任の一部を引受けた島田農相は廿三日の閣議に於て未だ完全なる資料の蒐集を了せず最後的斷案を下すに至らないが、政府部內に於ては早決め的情報に依る推斷又は言明を一切避けて所管大臣に一任されたい旨を述べたが他方產業組合はその總意に基き經營實現を期することになつてをり、一方藤原商相は廿三日貴族院本會議に於て商工省の反對意向を表明するに至つたので島田農相としては愈よ早急に解決に乘出さざるを得ざる窮境に立つに至つたので一兩日中に農林省としての態度を一應明確にするものと思はれる、而して農相としては同問題に關する考察の重點を去る五月十四日假契約成立の際手交せられたる出資金三百萬圓が如何なる名儀、手續に依り醵出されたか又適法なりや否やを徹底的に糾明する點に於て的確なる資料蒐集を急いで居るが、更にその點に關し去る十九日衆議院豫算分科會で民政黨の松村謙三氏が「任に背く」ものとの言辭を用ひたので法律上の見地から農相は頗る重大視し特に調査の完全を期してをり最後の斷案に到達した場合には閣議に諮つて諒解を求めた上產組に對し正式通告をする筈である

議員の質問封鎖 首相の答辯で一應は解決

【東京國通】政府は去る十五日貴族院本會議秘密會に於て支那事變處理に關する說明を行ひ、その際議員の質問に對し政府はこれを聞き流したまゝで終つたが、政府のかゝる態度につきかねて貴族院各派內に頗る不滿の空氣を釀し今日に至つたところ同和會岩田宙造氏はこの空氣を代表し廿三日の貴族院本會議に於て議事進行の形式で重大發言を行ひ政府の態度は豫算並に一般議案の審議に關して議員の職責遂行を不可能ならしめるものとして米內首相の答辯を求めた、岩田氏の質疑の要旨は

一、政府が或る事項について質問封じを行つたことは五十年の議會にその事例がない、多年の議會の慣行を破つて審議を不可能ならしめるものであるが政府は場合によつては斯くの如き答辯を拒否することは差支へないと考へて居るのか

二、政府は實際問題として議員等の質疑に對して或る事項につき場合によつて全面的に拒否する考へを懷いてゐるか否やといふ二點にあり、政府はかかる態度を以て臨まんとする以上議員はその職務を遂行することは不可能であつて政府は全面的に答辯を拒否する考へを持つてゐるが如き疑惑が一掃されぬ限り豫算案審議などは圓滑に行はれ難いといふ極めて強硬な態度を表明したものである、これに對し米內首相はあつさり政府としては全面的に答辯を拒否する考へはない所以を答へたが、これを以て問題は一應解決したと云はれる事變處理の具體的方針に關する今後の實質的檢討に關聯して貴族院と政黨との微妙なる關係を殘してゐると見られ注目される

英、佛土を偵察(獨空軍省發表)

【ベルリン廿三日發國通】ドイツ軍司令部發表=ドイツ空軍は二十二日北海英本國ならびにフランス東部の二方面を廣範圍に亘り偵察飛行を敢行、イギリス方面に向つた飛行機のうち二機は歸還しなかつた、またイギリス空軍の三機は二十三日ドイツ沿岸に來襲したがその一機を擊墜した

獨機、英トロール船を爆擊

【ロンドン廿三日發國通】廿二日イギリス海軍省發表=廿二日ドイツ機はイギリス海軍トロール船ファイグシャー號(五、二一五噸)を爆擊、士官二名、水兵十九名が戰死した、更に同日ドイツ爆擊機は英東海岸でノルウェー汽船アカバーラ號(一、五二四噸)外一隻を爆擊、アカバーラ號は火災を起し他の一隻は沈沒した、また廿三日早朝他のドイツ機は英東海岸に來襲した模樣である

英、ソ艦隊衝突か

【コペンハーゲン廿三日發國通】北氷洋ペツアモ方面に向つた英國軍艦とソ聯北氷洋艦隊との間に衝突が行はれたとの報道が一部外國筋に行はれてゐるがデンマーク官邊ではかゝる風說は誤傳とこれを否定してゐる

米對芬借款否決

【ワシントン二十三日發國通】二十三日の下院に於ける銀行委員會に於て三千萬ドルの對フィンランド貸付は五對一の投票を以て拒否された

印度支那銀行 日本支店開設

【パリ廿二日發國通】傳へられるところに依れば印度支那銀行監査役ボール・ガニー氏は印度支那銀行日本支店開設の任務を帶びて來春三月から四月の間に訪日の豫定である、尙印度支那銀行の支店開設については既に一月二十七日官報に報濟みであり、同銀行[illegible]分行の開設が傳へられる折柄フランスの極東政策の積極化として注目される

專管公社の新職制

滿洲特產專管公社はかねてより職制を考慮中のところ今回左の如く決定を見、役員の選任も略ぼ決定したが附業部、調查部は準備完了せぬため部長は當分置かぬことになつた

總務部(部長瀧谷源四[illegible]) 庶務課、經理課

營業部(部長吉田清[illegible]) 企畫課、大豆收買課、[illegible]品收買課、製品販賣[illegible]

附業部 第一課(特產關係團體、投資事業、大豆加工、弘報宣傳)二課(麻袋に關する業務)

調查部 調查課、資料[illegible]

特殊會社の弘報審議會

產業開發の實情を綜合的且つ強力に內外に宣傳し並に統制經濟の強化に伴ふ國民訓練の緊要なるに照し政府は弘報處統轄の下に各特殊會社の弘報機能を統一强化し各社社業の宣傳を有效適切ならしむると共に、各社をして社業に關係ある重要國策の宣傳を分擔せしめて國策宣傳の完璧を期するため去る二月十九日の國務院會議に於て特殊會社宣傳組織要綱が決定されたが二十三日午前十時より第一回特殊會社弘報會議を國務院講堂に於て開催、薄田總務廳次長、武藤弘報處長、弘報處各參事、森田弘報協會理事長、前田[illegible]理事長、[illegible]粕滿映理事長、奧村滿洲[illegible]放送部長、[illegible]案內所長等約四十餘名出席し要綱趣旨徹底に關し種々審議を行つた

中國青年黨 海州支部結成

【北京廿四日發國通】大會開催と共に徹底的な反共國家主義を標榜して亞細亞民族の幸福と復興のため果敢な文化鬪爭を續けてゐる中國青年黨海州支部の發會式は廿四日午前十時から海州振興會館において〇〇部隊長、海州特務機關長はじめ日華兩國代表者を來賓に同黨總裁代理、支部長孫武氏以下二百の黨員等列席の下に盛大に行はれた

中銀帳尻

廿一日中銀帳尻左の如し(單位千圓)

	廿一日
紙幣	五九七、三三三
鑄貨	三三、四一八
預金	[illegible]、一八二
貸出	七九六、一九九

支那事變と猶太人 (十三)

童心に排日注射 新聞も映畫も民衆には毒藥

排日社會教育

國民政府の施政十數年そのうち一番成功したのは排日教育といふて宜しい。兒童の入學早々排日思想を注ぎ込んで第一先入主を造る、それを土臺に次から次へと手段方法を盡して**排日**教育を施すので大抵卒業までには排日信念化するやうになる、所謂學校教育の効果に驚くべきものがある併し仔細に調べれば學校教育のうちに之を溫め之を育てた一大原因あることを見遁してはならない、之を忘れたら恰も廬山に登つて五老峰に遊ばないと同樣である、一大原因とは猶太人の手した社會教育である、換言すれば新聞雜誌、ラヂオ、映畫、演劇、藝術等による**感化**である、之等は孰れも日夜公衆の目に觸れるものか又は最も喜ばれるもので且つ最も輕い氣分で受け入れられるものである、隨つて最も目立たないで最も深く滲み込み絕大な感化を及ぼすものはこれである。新聞ほど強い威力をもつものはない、新聞の日々夜々放射する魅力のために世人は自由に引摺らされて了ふ、新聞を信じないといひながらも新聞を基準としてゐる、多少疑惑を持つても每日繰返さるればついこれを信ずるやうになる、新聞は通信社の材料がもとで刷上げられるがその**通信**の元締めロイテル、アバス等は猶太人の經營で換言すれば猶太通信社は新聞社を通じて世間を指導してゐるのである、支那の新聞は上海を以て最も盛んとし其所には外字新聞あり支那新聞がある、而して支那の知識階級は外字新聞に目を曝さねばならぬやうに馴らされてゐる、ノースチャイナデイリーニュース(林西報)チャイナプレス(大陸報)上海タイムス(泰晤士報)上海イヴニングポストエンドマーキュリイ(夕刊)等一として猶太人の經營に屬せざるはない、これ等の新聞は國民政府の意圖を酌み且つ支那民衆の**機嫌**を取りつゝ數年來屢々排日記事論說をもつて紙面を賑はした、これが老若男女に及ぼす感化の如きは云ふだけ野暮である、事變以來國民政府は一層外字新聞に同情支援を求めたことはいふまでもない、電信電話、電燈等苟くも電氣に關するものは總て猶太人の獨占といつてよろしい、殊に支那のラヂオに付ては滿洲事變、上海事變以來その排日振りは餘りに人口に膾炙してゐるが今回の戰に於ける怪ラヂオの害は**憤慨**より寧ろ噴飯に値する、上海の娛樂界—興行場は殆ど皆猶太人の經營である、セエロムレヴユーの一顰一笑は斯界の人をして一喜一憂せしむ、アメリカ映畫は悉く猶太人の手にあつて殊に東洋向映畫は特別の目的のもとに製作される、そのアメリカ映畫が自由無制限に輸入され嬉々歡笑の間に人心を融かしてゐる、綏遠事件の映畫は支那人を有頂天に自惚らせ、今次事變の映畫の出鱈目の如き眞に**論外**である、この他音樂、藝術、文學による排日行動の如き餘りくど〳〵しきをもつて一切を省略する、昔孔子は浸潤の譖の恐るべきを說いた、十數年の排日社會教育は支那の人心をして變態的心理に陷らしめた、嘗て支那の排外運動は英國を目標としたもので我國の如きはその卷添に過ぎなかつた、打倒英國帝國主義は四百餘州の山河を撼がし國民黨の開祖孫文の如きはその一生を通じて排英に終始した、然るに何事ぞ蔣一派とサツスーン一派と提携合作するや形勢一變**排英**の聲は排日と化し天の覆ふところ地の載するところ苟も露の墜つるところ、いたるところ排日の聲ならざるは無きに至つた、山色移らざるも人事は改まつた、げに恐るべきは社會教育である

ウエルズ米次官 あすム首相と會見

【ローマ廿三日發國通】アメリカ遣歐使節ウエルズ國務次官を乘せたレツクス號は二十五日朝ナポリに到着するがウエルズ次官は二十六日の朝ベネチア宮にムッソリニ首相を訪問してチアノ外相と重要會談を行ふ豫定であるが二年前滿期失効の米伊通商協定の新規取極に對しても交渉が行はれることは確實と見られてゐるなほ會談終了後廿七日夜ローマ發列車でベルリンに直行することとなる模樣であるが傳へられるところに依ればドイツ政府は英佛訪問を先にしドイツ入りを最後にして貰ひたいとの希望を申入れたといはれるが、ウエルズ次官は豫定を變更せぬらしくドイツ側の希望によつて英佛訪問の後再びベルリンに赴くこととなるかも知れぬといはれる

ヒ總統とも會見

【ベルリン廿三日發國通】アメリカ遣歐特使ウエルズ國務次官は廿五日伊國ナポリに到着するが確實なる筋への情報によれば、次官はベルリン訪問の際ヒトラー總統と會見重要協議を遂げることゝなりドイツ政府としては出來るだけウエルズ次官の希望する情報蒐集に便宜を與へる意向と云はれ既に大々的なウエルズ次官の歡迎會を開催する議がドイツ政府部內に進められてゐる模樣でカークアメリカ代理大使は廿三日午後ドイ[illegible]ゼツカー外務次官を訪問しウエルズ次官の訪獨プログラムにつき打合せを遂げた

警察官の功績ふ 清朗の英靈祠 中警校に近く竣工

滿洲國警察協會では建國以來三千五百に達する名譽の殉職並に物故警察官の爲例年九月慰靈祭を催して英魂を慰めてゐるがその功績を永久に大陸に留めて廣く顯彰する意味から日本警視廳の彌生神社にも比すべき英靈祠を建立する事になり國都南嶺の中央警察學校校庭の淸淨なる一隅を選び康德五年末以來工費二萬圓を投じて工を進めてゐたところこのほど日本風に滿洲式を巧みに加味した警察官の英靈祠が九分通り竣工したので三月上旬を期して警察協會總裁于治安部大臣以下關係者參列盛大な遷座落成式を擧行することになつた

電通「滿洲建國讀本」獻上

皇帝陛下御訪日の旨仰出されて日滿兩國の契り愈よ深き時にあたり、日本電報通信社では今回同社で紀元二千六百年の記念出版として刊行した德富蘇峰著「滿洲建國讀本」を皇帝陛下に獻上申上げるべく宮內府へ申出てゐたが、この程御嘉納の旨仰出されたので廿三日午後四時光永社長代理として鹿子木理事から陳宮內府理事官を通じて獻上申上げた

畜產獸醫大學 四月一日開校

滿洲國產業開發に不可缺の關係にある畜產政策の實現には先づ豐富にして優秀なる技術者を大量に確保養成を必要とするので政府は近く開校される新京畜產獸醫大學の官制を公布する運びに至つたが、同大學は大學令に基く單科大學として全滿嚆矢のものでその機構は本科、特殊科（滿系のみ）の二科に分たれ修業年限は本科日滿系共に三年制、特殊科二年制で卒業の曉には獸醫師開業の認可證が授與されることになつてゐる、而して本年度學生募集人員は本科日滿系各卅名、特殊科四十名で既に滿系學生の入學試驗も完了し目下日本各府縣知事に委囑中の日本學生の推薦を俟つて陽春四月一日より新京法政大學分校內に開校の豫定で、教授陣容は初代學長たる獸醫中將新美倍太博士以下教授九名助手六名と夫々大半決定してゐるが、本年度豫算については人件費として十二萬二千圓を計上して諸般の準備を急いでゐる、なほこれが打合せのため來る廿八日午後二時より民生部講堂に於て同大學設立籌備委員會を開き委員長安達馬疫研究所長、新美同大學長をはじめ田村民生部教育司長等全委員出席し滿系學生入學者決定、開校時期、教授方針その他につき種々協議することゝなつた

青年學校武道戰 廿六日國都に第四區六校競ふ

時局下に於ける尙武精神の昂揚を目指し、併せて頑健なる身體を養成する意味に於て青年教育研究部では第四區聯合會が主催となり同區內青年學校、新京、公主嶺、范家屯、四平街、吉林敎化の六青年學校の生徒による第二回武道大會（柔道、劍道、銃劍術）を二十六日午前九時より新京青年學校講堂に於て開催することになつた

北安省の歌 當選作決定

北滿の黑土地帶に位し北邊振興工作に邁進する北安省公署では省民一體となつて目的完成に邁進する意氣を示す行進歌を作らうと縣賞募集を行つたが此程審査の結果次の當選歌を決定、三月一日發表する事となつた

一、王道萬里北滿の雲も湧き立つ地の涯に、黎明告げて建設の鎚音高く潑剌と、生氣脈搏つ大北安

二、沃野の綠旭日に映えて希望の空に展ぶところ、おゝ、新興の逞しき曙光を浴びて躍進の翼羽搏く大北安

三、興亞の息吹き火と燃えて、見よ聖恩の大旗の下產業競ひ日に月に世紀の文化絢爛と、華咲き匂る大北安

四、若き亞細亞の明日を負ふ、愛と力に共榮の一致の心美はしく築く平和の理想鄕、五族の樂土大北安

「當選者」大分縣西國東郡吳崎町川下忠男「佳作」和歌山縣日高郡川上村川原町河一四八西川好次郎、岐阜縣郡上八幡町大谷島谷五二宮安德、東京市目黑區原町一二四七向井進、東京市葛飾區新宿町五の三五〇〇鈴木芳一

滿洲炭素工業 設立準備着々進む

滿洲に於ける電極、炭素關係工業は滿洲輕金屬、電化工業の躍進に備へ必要缺くべからざるものとして豫て日本側に於ける同工業資本の參加を慫慂中の處、この程參加決定を見るに至つたので愈よ資本金二千萬圓の普通法人滿洲炭素工業株式會社を設立するに決定した模樣である、同社資本金は滿洲輕金屬五百萬圓、滿洲電化五百萬圓、日本カーボン五百萬圓、東海電極五百萬圓の均等出資、四分の一拂込みの普通法人として設立さるゝものと見られる、出資技術は日本側が無償にて提供し工場は大體安東に豫定されてゐるが、建設資材設備は日本側の既存設備を出資の一部として移駐せしめる意向の如くである、なほ同社初年度炭素生產目標は大體一萬トン程度と見られてゐる と見られこの結果同社は政府の全額出資となる

徐駐伊公使歸滿

駐伊滿洲國公使徐紹卿氏は政府の歸還命令によつて去る二月三日諏訪丸で日本に渡り約廿日滯在の上廿四日午前七時廿分入港の吉林丸で着連、一日滯連の上廿五日あじあで歸京の途に就くが歐洲殊に最近去就を注目されてゐたイタリー國內の政治情勢につき左の如く語つた

大戰勃發以來歐洲に於ては何れの國も非常な緊張振りを示し、一觸即發何れの國が直ちにこの火中に捲込まれるや測り知れぬ情勢である、最近注目の的となつてゐるバルカン諸小國の動向はかゝる情勢を全面的に反映してゐると云ふ事が出來るのであるが、最近に於てはルーマニアの對獨ガソリン供給停止問題等ありいつかは政治問題にまで發展すべくこの種問題は數知れず伏在してゐるのだ眞に嵐の前の靜けさと云ふ所であらう、イタリーの對獨態度は防共樞軸締結以來變化はないと云はれてゐるが、事實においては孤立自主的な施策が政府の萬般の政策に現はれて來てゐる、又その去就に付ても現在では何れとも斷言出來ぬが同時に英佛獨の中に立つて和平斡旋の役を買つて出るだらうと云ふ觀測も殆ど期待薄である

航空通信技術員募集

滿洲國交通部では國內航空網の擴充に伴ひ第一回航空通信技術員の募集を行ふことになつた、募集人員は約二十名で、志願者資格は大正五年四月一日より大正十三年四月一日までの間に出生した者で中等學校卒業以上の學力を有するもので試驗期日は

新京二十三日、二十四日（於交通部）哈爾濱二十五日、二十六日、奉天二十八日、二十九日、大連三月一日、二日

となつてゐる、なほ試驗に合格したものは東京の電氣通信工學校に入學約十ケ月間教育をうけるものである

商船日滿新ダイヤ發表

商船では定期船の一部大阪寄港を中止して日滿間航海數を增加することゝなつたが、この結果商船では廿三日新ダイヤを發表した

これによると二月十五航海、三月七航海增加して廿二航海となり四月は廿航海、五月廿二航海と決定した

なほ三月には臨時船としてあらびや丸が一航海就航、更にりおでじやねいろ丸、ぶえのすあいれす丸の兩船も同樣三月臨時配船され、四月はらぷらた丸が新增配される

△在滿邦人の產婦人科的諸統計 市立醫院 宋吉彌吉氏 △杭補體作用除去法に關する實驗的研究 滿鐵醫院 菊川滿氏

親善獨人ら滿赤へ感激の獻金

日滿兩國視察の途次來京した東漢堡東亞協會會長リフエルツヒ、同書記長リヒターの兩氏及びドュルクハイム教授は廿三日國都の日本大使館を訪問の際滿赤の活躍ぶりを耳にして感動のあまり三浦參事官の紹介で直ちに連名で三百圓の獻金を申出で國境をこえた人道愛の發露として滿赤當事者を感激させた

伊勢神宮大宮司

【東京國通】伊勢神宮大宮司三條西實義伯は老齡のため今回辭任することゝなりその後任に高倉篤麿子が決定二十四日左の如く宮內省から發令された

正三位勳一等子爵 高倉篤麿
任神宮大宮司（一等）
神宮大宮司伯爵 三條西實義
依願免本官

南滿瓦斯異動

南滿瓦斯株式會社常務取締役齋藤勘七氏は今回在滿三十年を機に辭任することになり同社ではこれに伴ふ異動を二十三日左の如く發表した

取締役 靑木哲兒
技師長を命ず
安東支店長參事 木浦和男
營業課長兼大連瓦斯營業所長を命ず
經理課長參事 水上末
庶務課長兼務を命ず
營業課長兼大連瓦斯營業所長、技師 五十嵐榮三
奉天支店長兼奉天瓦斯製造所長を命ず
奉天支店長參事 後藤末男
總務課長兼新京支店長を命ず
錦州支店長技師 山崎正在
安東支店長を命ず
庶務課長參事 能登精一
錦州支店長を命ず

地政總局慰靈祭

地政總局では廿四日午前十一時から東本願寺新京別院において物故職員の慰靈祭を執行、遺族多數をはじめ袁局長、篠原副局長以下全職員、地方縣、市、省職員代表、同局訓練所職員生徒五百餘名參列下に畠山輪番導師となり、故王俊楷氏ほか廿二名（日系八名、滿系十四名）の物故職員の靈を慰めた

憧れの大陸に展く 日系官吏登龍門 二千名の大量募集

將來の滿洲國を背負つて日滿一德一心を具現し新興大陸の人的中堅資源となるべき日系官吏約二千名の採用が決定、その日本に於ける公募試驗の詳細が廿三日文官考試委員長薄田總務廳次長の名で公告された、募集人員は甲種委任官（高等專門學校程度廿八歲まで）行政官技術官とも若干名、乙種委任官（中等學校程度廿六歲まで）技術官若干名、行政官千百五十名で應募者は三月廿五日までに國務院人事處考査科に屆くやうに願書、履歷書、成績表、診斷書、寫眞等を取揃へ提出することになつてゐる、期日及び施行地は兩方を通じ

△四月五日大分、平壤、島根、神戶、福井、靜岡、水戶、盛岡△四月九日宮崎、京城、岡山、和歌山、金澤、横濱、福島、靑森△四月十三日鹿兒島、大邱、高松、奈良、富山、前橋、新潟、小樽△四月十七日熊本、山口、德島、津、長野、宇都宮、秋田、札幌△四月二十一日長崎、松江、高知、京都、甲府、千葉、山形、旭川△四月廿六日福岡、廣島、松山、大阪、名古屋、東京、仙臺（いづれも三日又は四日間續行）

課目及び時間割

△甲種委任官 第一日午前（數學、論文）同午後（法制經濟大意、國語、日本歷史、世界地理、常識）第二日及第三日人物考査

△乙種第一日午前（數學、日本地理、滿洲地理）同午後（國語、作文、常識）第二日第四日人物考査

以上の難關を突破すると甲種は世帶持ちで百三十圓、獨身者で百二十圓以上、乙種は七八十圓の初任給で天晴れお役人になるわけで、發表は五月下旬政府公報と合格證書を送付することになつてゐる、なほ詳細は東京の駐日大使館と大阪市東區備後町第二野村ビル內大使館大阪辦事處へ照會すれば便宜を圖つてくれる

故德永博士の慰靈祭

去る八日東京に於て急逝した早大教授理工學博士德永重康氏の新京在住門下生及び關係者四十名は故教授の靈を慰めるべく廿四日午後五時より新京稻門工友會が主催となつて新京神社に於て盛大な慰靈祭を執行した

本社主催 第二回 忠靈塔 忠魂碑 巡拜自轉車荷重繼走大會

△期日 三月十日午後二時出發

△申込締切 三月八日迄

△コース 兒玉公園前を出發、大同大街を南走康德會館四つ辻を右折忠靈塔に至り參拜、榊奉奠のゝち兒玉公園を通り西廣場を經て和泉町より鐵道ガード下を拔け寬城子戰跡忠魂碑に至り參拜、榊奉奠のゝち和泉町に戾り驛前日本橋通りに出で大馬路を一直線に南關に行き、右折して大馬路に出で左折して南嶺戰跡忠魂碑に至り參拜、榊奉奠のゝち大經路を一路北走新京神社前に至る二四粁八〇〇米で、これを三人で繼走す

△チーム は各官廳、會社、商店を以て一單位とす、但し一單位內に於て幾組編成するも自由とす

△選手數 一チーム三名、補缺一名とす

△出場チーム數によつて二分に分つことあるべし

△規定

1、全コースを三區に分割三人で繼走す

△前記コース中兒玉公園前出發點より日本橋通り電業支店前迄八粁六〇〇米を一コースとす

△電業支店前より南嶺忠魂碑前迄八粁六〇〇米を二コースとす

△南嶺忠魂碑前より決勝點新京神社前迄七粁六〇〇米を三コースとす

2、一チーム三人を以て編成し一人一コースを走るものとす、一人は一コース以上を走ることを得ず選手の配置は各チームに於て行ふものとす

3、使用自轉車は鑑札を有する普通の乘用車にて（實用車自轉車競技規定による）後荷かけに四貫目の砂袋をつけること但し砂袋は主催者に於て準備し競走當日出發點前に於て渡す

△競走車はブレーキ及コースターを裝備すること

△泥除け荷物かけを裝備すること

△ペタルクリツプ及競走車用ペダルを裝備することを得ず

△競走車は二十六吋車を使用すること

4、競走者は引繼線に於て次走者に襷と砂袋を引繼ぎ、次走者は引繼をうけた襷をかけ砂袋を自轉車に積みかへ出發すること

5、砂袋の把束用紐は麻紐或は繩を用ふること（チーブバンドは使用を禁ず）

6、途中自轉車に故障を生じたる場合は自チームの自轉車と交換して競走を續けることを得但し砂袋は積みかへること

7、選手間のタツチに類する妨害行爲を禁ず

8、スタートの補助を許さず

9、砂袋は決勝點に於て檢査す

△服裝 選手の服裝は華美、宣傳に類する服裝及マークを附帶せざること

△應援 選手に對する應援は自由なるも自動車オートバイその他乘物に依る應援者が他選手と接近し妨害することを禁ず役員に於て妨害になると認むる行爲ありたる時二回注意を加へ更に繰り返す場合はそのチームを失格せしむることあるべし

△審判 自轉車競技協會に於て行ふ

△優勝杯 體育聯盟長杯▲一着より五着迄個人賞呈す

後援 特別市公署體育聯事務局
贊助 自轉車商組合商店同業組合

一生忘れぬあの歡喜の叫

中銀生辭引村上秘書引退談

「中銀の生辭引」として躍進滿洲國の金融界に一種の睨みをきかせてゐた滿洲中央銀行總裁秘書村上英信氏が滿五十五歲の停年の故に名殘りおしい銀行の窓口におさらばしてこのほど誕生した滿洲書籍配給會社總務課長に就任し新たなる活躍につくことゝなつたが大同元年創立事務に參畫のため招かれて入滿以來早くも九年金融經濟の殿堂「中銀」に立籠つて榮厚、田中兩總裁につかへて功勞の厚かつた人だけに今回の退陣は流石に名殘惜しいものがあるかして午前中は事務引つぎのための中銀勤め、午後は總務課長として書配へ出勤といふ二人前の仕事できりきり舞の村上さんの面には流石一抹の寂寥が漂つてゐたも思へぬ元氣一杯の元中銀以下五十六歲などゝはとて生辭引の感慨談―【寫眞は村上秘書】

莫大な費用を要したといはれてゐる現在の宏壯な中銀の建物を見るにつけ北大街の小さな滿系家屋に呱々の聲をあげた當時を思ひ出して感慨無量なものがあります、中銀は御承知のやうに軍當局の大きな決心と滿鐵、正金、鮮銀、豪銀の合體協力で設立されたもので創立に參畫した人々は全く不眠不休の活躍をしたものです、當時滿洲には東三省官銀號（奉天）吉林官銀錢號（吉林）黑龍江官銀號（齊々哈爾）それに張作霖の機關銀行たる邊營銀行などが亂立して紙幣を濫發しては外貨と換へてゐたゝめ紙幣は暴落する一方、大衆は塗炭の苦しみをなめてゐる狀態でした、こんな情ない銀行を吸收、救世主としての中銀が大同元年六月廿五日創立され、ついで七月一日業務を開始したわけですが、忘れもしません、六月廿八日舊貨幣と新國幣の比率を發表した當日中銀前の揭示板に血まなこた顏をして雲集した大衆が揭示を讀み終るや否やガラリと安心の表情を見せワツと歡呼の叫びをあげたものです、あのうれしさうなどよめきは未だに忘れることの出來ない最も印象的な思ひ出です、中銀も滿系間に最も德望のある榮厚さんや人望の厚い山成さんのあとに國際金融の權威田中さんを總裁に迎へてますます內外の信用も確立し滿系間でも銀行とは軍閥の搾取機關であるといふ古い觀念が殆んどないまでとなり大同廣場に滿洲國金融の大本山として堂々と君臨する中銀の偉容とともに銀行に對する信賴の念は即ち國家に對する力强い信賴となつてゐるのを見るのは私たち當時を知るものにとつては無上のうれしさであり男らしい仕事をしてのけたとしみじみ思ひます

滿洲硫安 日本側持株 政府が全部肩替り

化學肥料の大量供給を企圖し日本農村資本と折半出資を以て設立された滿洲硫安（資本金五千萬圓、四分の一拂込）は歐洲情勢變化の影響を受けて機械輸入が困難となるに至つたので事業の一部を休止する一方會社機構を縮小することゝなつたが、これを機會に日本側產業組合所有株全部（全購聯十萬株、道府縣購聯及び信聯四十萬株、一株額面五十圓、四分の一拂込）を滿洲國政府で肩替りすることとなつた模樣である、之は主として日本側の要望によるもので全購聯の出資資金は產組中金よりの借入によつて賄つた關係上現在の建設配當四分ではそれと逆鞘になり更に同社の事業が一部休止と決定した以上かゝる犧牲は忍び得ずとの理由に基くものと見られ滿洲國側では日本側の正式決定を俟つて日本側所有の五十萬株全部の政府肩替りの手續きをとる筈で收買金額は拂込額たる一株十二圓五十錢

二學會研究發表

日本皮膚科學界滿洲地方會では廿五日午後一時から市立醫院で第二十六回地方會を開催、各會員から研究發表を行ふことゝなつた

□　□

また新京醫學會でも廿九日午後三時から市立醫院講堂において第百四十六回例會を開催するが、演題及び發表者は次の通りである

△再度の大出血を伴ひたる急性膵臟壞死（一新療法）順天醫院高橋菱雄氏

星野長官一行

日滿軍警慰問中の星野總務長官は廿五日午後十時卅五分、蔡外務局長官、靑木法制處長は同じく午後一時半着あじあで夫々歸京する

家庭時事解說

"住宅房租統制法"とは？

▼…滿洲の物價は毎年騰貴しつゝありますが其の中でも高物價の親玉はなんと言つても家賃でせう、茲では新京を標準にしてのおはなしですが、疊一枚當り七圓八圓といふ値段には唯驚いてばかりはをられません、どうしてから家賃が騰貴したかと申しますと一般物價の騰勢にもよりますが、もつと根本的な理由は人口の激増による住宅拂底で其の上新築しようにも建築資材が統制されて中々手に入りませんので、今假に住宅を建築しようとしましても殆ど不可能に近い狀態なのですですから家賃の値上りはどこ迄行くやら際限がなく、延いては國民經濟生活に不安を與へるものとして、政府でもこれを重視しまして一月廿七日法令を發布しまして要綱を示すと共に新京特別市公署では直ちに公定家賃臺帳といふものを作ることに着手する

▼…一方房租調査委員會を組織しまして公定家賃の決定に乘り出し決定次第實施することになつたのです、政府の考へとしては疊一枚當り最高四圓位が適當であるといふ事になつてゐるさうですが、さうなれば一般市民の經濟生活は相當樂になるわけです、この統制法は新京、奉天、哈爾濱などの主要都市二十八都市に實施されることになり家賃の値上は家主の獨斷では出來ないことになり、價格も公定で縛られるため今日迄の樣に法外な家賃はとれずかくて惱みの種である家賃問題も解消されることになりませう、殊に借家人の頭痛の種であつた敷金も

一、家賃前納の場合は敷金は家賃の二ケ月分
一、後納の場合は三ケ月分

といふことになつてをり又當然問題となる下宿屋は室代と食費とを區別して統制する筈ですから、これも從前のやうなことはないことになり細いところ迄民衆に對する政府の親心が盛られてゐるわけです

▲「家庭時事解說」新設に付て▼

建國八年、吾が滿洲國の政治、經濟、外交、教育等各部門の內容は漸次整備されると共に日に月に發展の過程を辿りつゝありますが、殊に滿洲國は經濟國家といはれるだけに政治經濟に關する部面は斷然重要性を加へ、從つて之に關して政府では色々の法令や規制を發布して國家國民の福利增進に力を入れてをります、而してこのことは獨り爲政の局にあるもののみが腐心しても國民日常生活の上に完全に浸透されねば效果はないのであります、これには一般家庭に於きましても公布される法令其他に付ての政治的經濟的の內容を能く認識することが肝要であるといふ要望に答へるため本社ではこれ等部門のエキスパートによつて皆さんの質問に回答を致すことになりました、その意味で本欄を充分御利用下さることを切望致します

節句の前奏……

時局を忘れた"雛祭" 値段の高いのが大持て

春の魁け雛祭――三月三日が若い娘さんの胸を膨ませてやつて來る、さて、今年の雛景氣はどうかと市內百貨店の特賣場を素見してみると、正札づきのお雛樣がずらずらッと並んでゐる

「どの程度のものが賣れますか？」

と訊くと

「セットの高いもの程はけるやうですね、あすこにあつた二百五十圓のものが賣れたし、こつちにあつた二百圓のものも賣れたし――」

と云つた馬鹿景氣のいゝ話、藤娘とか高砂とか浦島とか云つた小物もセットに比例して賣れるとのこと

「大體若い奧さんらしい人が買つて行きますよ」

と店員氏が言ふところをみると、初めての愛兒に贈る兩親の愛情が感じられると共に、所謂在住邦人達の「植民地氣分」が拔け切らないことが覗はれる

微風は愉しいが旋風は眞ッ平

種類の多い季節の風

春の跫音とともに日々の溫度も次第に上昇し初めそろそろ滿洲特有の疾風が街頭の砂塵を吹き捲くるやうになつたが、一體風はどうして起るのだらうか

一口に言ふと風は大氣の運動で、氣壓の關係から起るのである。風は高氣壓の山から低氣壓の谷に向つて常に流動し、等壓線に接近すると益す風力は大きくなり、氣流は地球の自轉運動の影響を蒙つて、北半球ではその方向に偏して旋轉し南半球ではこれと反對となる、そこで一つ風には色々の種類があることを語らう

これを大別すれば貿易風、季節風、海軟風、陸軟風、山風、谷風、旋風等があるが風速の關係から更にこれを細別すると次の六階級に分たれる（秒速）

	米		米
靜穩	〇	―	一・五
軟風	一・五	―	三・五
和風	三・五	―	六・〇
疾風	六・〇	―	一〇・〇
強風	一〇・〇	―	一五・〇
烈風	一五・〇	―	二九・〇
颶風	三〇・〇	―	

なほこれを常識的に目測によると和風は木の葉を動かし、疾風は木の枝を動かし、強風は強い木の枝を撓め、烈風は大樹の幹を動かし、颶風は家を倒壞せしめる程度のものとされてゐる

▽**貿易風** 熱帶地方は氣溫が高いため大氣は膨脹して絶えず上昇する、一方氣壓の高い溫帶地方の大氣がこれを埋めるべく赤道方面に向ふのでこゝに風が生ずる、赤道地方では常にこの氣流の循環が行はれてゐる、これを貿易風と云ひ、主に海上に發生し太平洋、大西洋上では不變の位置を占めてゐる

▽**季節風** 冬季は海上より大陸が冷えるため、大陸上には高氣壓が發達し、風は大陸から海に向つて吹き、夏期はこれと丁度反對になるため海上から大陸に向つて吹く、これを季節風と云ふ

▽**海、陸軟風** 季節風の規模の小さいもので一日に何回となく吹く、晝間陸地の大氣が熱せられると、陸の大氣は早く受熱し膨脹し上昇するので海から冷い風が陸地に向つて來る、これを海軟風と云ふ、ところが夜間はこれと反對になるので陸から海に向つて風が起るこれが陸軟風である、夕凪は陸上と海上の氣壓が平均した狀態を云ふ

▽**山、谷風** 夏季日中の氣溫が上昇すると空氣が山腹に沿つて上昇するのが谷風で、夜に入つて氣溫が下るとともにこれと反對に山頂から麓に向つて吹き颪すのが山風である

▽**旋風** 旋風は日本流で云ふと龍卷又はつむじ風である、これはある所に低氣壓が生じた場合それを埋めやうとして周圍の空氣が一時にドッと押し寄せるために起る、旋風は只一ケ所で終るものもあるが、多くは中心を漸次移動して連續的に起る事もあり而もその直徑は次第に大となる、かつて日本の東北に起つたものは八百キロ以上に達しその速力も一時間に六十餘里、一秒間に七十米といふ驚異的な數字を示し剩へ豪雨を伴つて多大の被害を與へたことがある旋風が海上で起ると海水を魚もろとも捲上げ、遠くこれを陸上に運んで時ならぬ魚の雨を降らすことがある

防空講座

備へ全ければ毒ガスも恐くなし（3）

毒瓦斯が公然と大規模に戰場で使用されたのは第一次の歐洲大戰だ。然しその當時は空襲に使用されるに至らなかつたが、その後各國何れも秘密裡に鋭意研究してゐるのは明かであつてたとへ現在使用禁止の國際法規があつたとしても、喰ふか喰はれるかの戰爭になれば國際法規など反古も同樣だ。警護訓練に毒瓦斯の防護が離れ難い理由である

◇……◇

一般に毒瓦斯と言つても常態は通常液體又は固體であつて、これが空中に撒かれた場合、氣體なり、液體となり、又は煙となつて人に生理的傷害を及ぼすのである。而して種類によつて人體に及ぼす作用を異にし窒息性、催涙性、噴嚏性、中毒性、ビ爛性の五種に分類される。又傷害發現の遲速により速効性、遲効性に區別され更に持續時間の長短によつて一時性、持久性とがある。

◇……◇

空襲における毒瓦斯の使用方法は航空機から毒瓦斯彈を投下するか、又は毒物を雨下せしめるかの二方法がある。毒瓦斯彈の大きさは種々あつて、五十瓩乃至三百瓩あるひはそれ以上のものも現はれるであらう。それ等の彈には全重量の約五割に當る毒瓦斯を充塡してその炸裂に因つて毒瓦斯が擴がり、そのため潰滅的効果をもたらす範圍は輕量彈でも窒息性瓦斯は二千平方米、ビ爛性瓦斯は六百平方米と言はれてゐる。毒物の雨下は航空機に特殊の毒液タンクを裝置しビ爛性瓦斯の如きものを地上に雨下撒布せしめる方法である。

◇……◇

かくの如く毒瓦斯の毒力は猛烈であるけれども、防禦さへ完全であれば爆彈や燒夷彈と違つて殆どその慘害から免がれることが出來る。然し乍ら數種の毒瓦斯を混合したり又は數種を同時に撒布される時は防禦に困難を來すことを豫想せねばならぬ。特に毒瓦斯は殺傷効果以外に精神的恐怖を起させ、秩序攪亂のおそれあり、毒瓦斯に對しては常に正確な知識とこれが防禦法を知つておかなければならない。

◇……◇

毒瓦斯の防禦に先づ必要なのは防毒面であり、これによつて眼や呼吸器をまもらねばならぬ。その他の防毒具としてはビ爛性瓦斯から皮膚をまもるために防毒衣もあるが、これは防毒作業に特殊の任務を持つ者が用意すればよく、一般には特に準備しておく必要はない。之に反し防毒面は國民の一人々々が所有すべきであらう。これと同時にこれは個人としての施設は不可能であるが、防護室の設備も必要であつて、これ等は會社、町內會、團體等の努力にまたなければならぬ。

◇……◇

次に應急處置であるが、それには致命的傷害を受け易い呼吸器をまもるため、鼻口だけでも覆つて毒ガスの來ない風上または屋上等に逃げるのも一つの方法である。なほ滿洲のやうな密閉された建物はこれを巧みに利用せば應急的な防護室が出來上る。適當な部屋を選んで床、天井は勿論、戸窓等に完全の目張りをすれば、一時性の毒瓦斯なれば大體防ぐことが出來る。

◇……◇

ともかく毒瓦斯の防禦は詳しく說けば大册の書となるので以上に止めるが、毒瓦斯は最も恐るべきであると共に之に對する知識と防禦の知識をもつて準備さへ完全ならば恐るゝに足りないことを銘記すべきだ【寫眞カットは防毒裝備と燒夷彈投下】（終）

……春の誘ひ

興亞の春風は足どり輕し

義太夫お染久松

邦樂名曲選として送る　後八・五〇

新版歌祭文　野崎村の段　豐竹古靱太夫　三味線　鶴澤清六　ツレ彈　鶴澤清友

この正本は安永九年九月の稻荷鳶藏座に書卸された近松半二の傑作で上下二段に別れてをり、上の卷は座摩社の段、野崎村の段、下の卷は長町の段、油屋の段となつてをります。これよりさきに正德元年四月に紀海音の作「油屋お染袂の白絞」があり、續いて明和四年に菅專助の「染模樣妹脊門松」があります。半二はこの二作から粉色したのですが後世この歌祭文の方が歌舞伎にも移入されて持て囃されるに至つたのです。

內容は和泉國石津の家中相良丈大夫は家寶吉光の短刀紛失の爲お家改易となり一子は攝州野崎村の百姓久作に預けられる久松と呼ばれてゐたが行儀見習の爲に瓦町の質店油屋へ奉公に出てゐるうちに一人娘のお染と人目を忍ぶ仲となるが、お染は山賀屋へ嫁入せねばならぬ身の上であり久松も座摩社で金を盜まれた落度もあつて二人は生木を裂かれ久松は野崎村の久作の家へ歸されます。

お光は許嫁の久松が歸つたので大よろこび久作は二人に夫婦の堅めをさせようと祝言の仕度にかゝつてゐるところへ久松戀しいお染は野崎の觀音詣りをかこつけて久松に逢ひに來ます。お染久松お光と三人の戀がもつれますが貞女なお光は戀をお染に讓つて髮を切りあきらめられぬ心を二人の幸福にと捧げます。油屋からはお染の後を尋ねて母が來るし久作も心のはなむけと紅梅の一枝を渡して久松は陸路を駕でお染は舟で大阪へ歸るといふ御存知の道行になります

ラヂオ　けふの番組

廿五日【日曜日】【M・T・O・Y】【新京放送局】

【朝】

七、〇〇（宮崎）神社めぐり「官幣大社」宮崎神宮
七、三〇（新京）建國體操
七、四八（大連）入港船のお知らせ
七、五〇（新京）ニュース
八、二五（新京）氣象通報
八、三〇（新京）（レコード）管絃樂とオーボエ獨奏（一）管絃樂「古代作曲家の音樂」アメリカ古代樂器協會（指揮）シュタットグーセンス（二）、オーボエ獨奏、一、ガヴオット（ラモー作曲）
九、三〇（東京）子供の時間、解說付管絃樂、組曲「コーカサスの風景」
一〇、〇〇（松本）第二回國民精神總動員全國皆スキー行進實況＝長野縣霧ケ峰スキー場より中繼＝
一〇、四〇（新京）講演、紀元二千六百年史（三）佐藤膽齋

【晝】

一一、五〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報
〇、〇一（新京）獨唱（レコード）一「新子守唄」ベルトラメリ能子　二「離れ小島」齋田愛子　三「城ケ島の雨」齋田愛子　四「かへろかへろと」金子一雄　五「ヴオルガの船歌」下八川圭祐　六「船頭唄」永田絃次郎
〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇〇（名古屋）傷病將士慰問の午後＝豐橋陸軍病院高師原分院より中繼
二、二五（東京）北米西部向海外放送、ラヂオドラマ「新島襄」坂東簑助、草間錦絲（解說）飯田アナウンサー他
四、〇〇（東・新）ニュース（新京）氣象通報
五、三〇（新京）ピアノ獨奏（レコード）「即興曲」作品一四二（シューベルト作曲）フイッシャー

【夜】

六、〇〇（東京）子供の時間、連作童話劇「ぼくと私の銃後日記」二月の巻海野十三作、高石成雄他（伴奏）東京放送管絃樂團
六、二五（新京）趣味講演「滿洲文化を語る（二）文字と言語の變遷」山本守
七、〇〇（東・新）ニュース（新京）告知事項、今晩の番組
七、三〇（大阪）錄音リポート
七、四〇（東京）連續物語「宮本武藏（十五）」吉川英治原作、徳川夢聲
八、三〇（東京）歌謠浪曲
八、五〇（東京）邦樂名曲選、義太夫「新版歌祭文」（野崎村の段）淨瑠璃豐竹古靱太夫、三味線鶴澤清六、ツレ彈鶴澤清友
九、三九（東京）時報、ニュース、ニュース解說、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

朝の子供の時間

組曲「コーカサス」の風景

解說附管絃樂　解說 柴田知常　中央交響樂團　指揮 篠原正雄

イポリトフ・イワノフ作曲（一）山にて（二）村にて（三）寺院にて（四）酋長の行列

黑海とカピス海との間をコーカサス山脈と呼ばれる山脈が通つてゐます、この邊りはコーカサス地方と呼ばれて、今日ではロシヤ領になつてゐます、或時イポリトフ・イワノフといふロシアの作曲家がこの地方を旅行しました、そしてこの地方の變つた踊りや風俗や又珍しい歌等をきいて大變興味を感じました、そこで「コーカサスの風景」といふ四つの曲から出來上つた組曲を作曲いたしました

連續物語　宮本武藏

後七・四〇　徳川夢聲さんの口演

三十尺もある空濠、この中に身を投じて難を避けた武藏はその底でお通が小柳生城にゐる筈はないがと考へた、しかし女なんぞ何だと思ひ返へし、この上は柳生石舟齋その者へ見參しようと意を決し、草庵さして進んで行つた、やがて利休風の茅ぶき門に行き當つた、しかし、こゝは石舟齋があらゆる名利名聞一切の我慾と他慾を離れてこゝに隱棲してゐるのである、その深く澄んだ心境！かゝる人の靜居を騷がすことの心なさに武藏は氣づきその場を去らうとする、その時、ふと眼についたのは門閑の坂を驅け下りて來る若い女の姿である

お通であつた、會はうか會ふまいか、彼は惑つたが彼は敢へてそれを爲さうとしなかつた、が一方お通はお通で城太郎と共に武藏の跡を追つてゐるのである、間もなくお通は武藏が近いところに在る事を知つて彼の跡を走つて追ふ、しかし武藏の姿既に遙かなところ、聲も屆かない彼方に去つてゐた、恰もそこに來かゝつたのは僧澤庵である、澤庵はかねてから柳生家と別懇であり、石舟齋からの勸めで訪れて來たのであつた

僕と私の銃後日記（二月の卷）

高石成雄君らの連續童話劇　後六時

上野行きの汽車にのりこんだ昭一と和子とは、汽車の中にはじめの夜を送りました、それからまた、いくつかの驛を過ぎたとき、名譽ある傷病戰士の一行が乘りこんできました、それを見ると、二人は元氣づきました、そして白衣の勇士たちに對し、お菓子をたべて貰つたり、座をゆづつたりしました、白衣の勇士は二人に感心して、いろいろと話をしてゐるうちに、二人の兄さんが、やはり戰死したことを聞き、さつきの感心は感激になりました。やがて白衣の勇士たちが列車をのりかへると、二人はまた急にさびしくなりましたが列車はやうやく上野驛に入つて行きました。ホームでは玉吉をぢさんが、二人の方に手をふつてゐるのが見えだしました

創作

曉霧（三）

櫻井辰雄

姉は弟の自殺を報らされて新京から飛んできた。だが、二三日經つて辰吉が再び店へ出るやうになると、足許から鳥がたつやうにして急々と歸つて行つた。父も母も姉も、皆んなで、まだ世間へ物笑ひの種を撒いた、と言はんばかりの顔つきで、辰吉の寢てゐるあひだ中、看病してゐた。辰吉は近所の臆測の囁きに耳も貸さなかつた。室木にも、他の友達にも暫くの間といふものは、顔を見せるのさへ嫌だつた。さうして夜になりさへすれば、仕事が濟み次第、二階へ上つて、机の前で考へ沈んだ。讀書にもペンにも親しみを失つて良ばかり喫つてゐた。翌朝起きると定まつて指がニコチンに染まつてゐた。

こんな生活を半年ほど送つた頃、姉と鹽澤から、一緒になりたいといふ手紙が辰吉の家へ舞込んできた。そして更に二ケ月ほど經つと、二人は一緒になつた。その間の經緯はどういふ風に運ばれたのか、辰吉には詳しいことを兩親は話さなかつたが、おほつぴらなやりかたでなかつたことは辰吉にも、ある疑惑の影を投げてゐた。

どん底に突き落されたやうな孤獨のなかに、さう何時までも閉ぢ籠つてばかりはゐられない辰吉だつた。それだけに、まだ墮ちきつて仕舞はない良さがあり、墮ちいれない煩惱がこびりついてゐた。さうした時、辛ひに寶木が訪れてきてくれた。求めるものに懸命だつた辰吉の心は救はれたやうな喜びに浸りながら、五クラブとの撚りを戻していつた。

父は辰吉があんな風な眞似をしてから、嗽鳴ることを控へるやうになつた。そして、おづ〳〵とした臆病な眼差しで、絶えず氣嫌をとるやうな様子を見せ始めた。辰吉には却つて、そんな父の態度が氣に食はないのであつた。が、考へてみれば長男といふ自分の立場が父の心の底に横はつてゐることを思ひ、それからそれへと際限なく考へて行くうちには、何時しか自分の感情の火が消えて仕舞つて頭の中は父のことで一杯になつて仕舞ふのだつた。しかし、それだからといつて辰吉は決して父と和解することはできなかつた。父が下手に出れば出るほど、辰吉は意地になつて離れて行つた。悲しいことだが、仕方がない、そんな氣持で欺されない良心を欺さうと努めてゐる辰吉だつた。

何時の間にか、母は父にも相談しないで、また、信仰を始めた。何處から買ひ込んで來たのか直徑一尺二三寸もある大きな鉢型の叩き鉦を佛壇の前へ据ゑて、朝から晩まで、鬧さへあれば叩くやうになつた。その鉦は崇高な音を發して、また、近所へ噂の種を撒いて行つた。白痴の妹は、すました恰好で佛壇の前へ胡坐をかいては、よく、鉦をひつぱたいた。母は、時々出掛けて行つては生かじりに覺えてくる說教の一くさりを訓すやうな穩かな顔をして。言つて聞かすのであつた。母の信仰は根氣よく續いた。その熱心に感じたのか、父は就寢前にだけ手を合せるやうになつた。一時間も永々と經文を讀む母と違つて、父のは極めて短かかつた——家內安全、商賣繁昌……あとは何やら、ぶつ〳〵と口の中で呟き消して仕舞ふのだつた。そしてそれが終るとさて、といつた妙な改まり方をしてから頭を下げ、上げると同時にガーンと一ツ鉦を鳴らして、それで終るのであつた。その神妙な、どことなくユーモラスな姿には、言ひ表し難い尊嚴な胸を衝く何物かがあつた。辰吉は、さうした父の姿をなるたけ見ないやうにと努めてゐた。怖しいからであつた。だが、怖しい矛盾した夜が幾日か續くと、時として明け方まで眠れないことが一再ならずあつた。そしてそんな夜は自分の餘りにも急激に變化する感情の動きに、畏怖と幻滅とを感じて、殆んど闇を凝視したまゝ逃れられない絶望の瞳を見開いてゐた。

この頃から辰吉は自分の將來といふものを眞劍に考へるやうになつた。苛烈な魂の喘ぎを筆にして姉へ送るやうになつたのも、同じ肉親の血を享けついだ姉に自分の氣持と希望とを知つて貰ひたいが爲であつた。辰吉は他人が生臭いと言つて自己の職業を貶すから魚屋が嫌になつたといふのでは決してなく、現在のままの自分がこのまゝこの生活の中に踏み止まつてゐたならば、やがては自分といふ性格が取返しのつかない崩壞を來すことであらう。それを何よりも怖れてゐるのだ、といふことを、くど〳〵とした文で繰返し繰返し綴つて、姉の許へ幾度となく送つたのであつた。辰吉は、そんな手紙を書いた夜は、定つて床に就いてから親不孝者！親不孝者！と自分を罵つて唇を嚙み、滲んでくる涙を必死になつて堪へるのだつた。涙を忘れた筈の人間ぢやないか、死といふ思ひつめたことをした昔を忘れた筈ぢやないか、そんなことを何遍も飽きるほど自分の心に言つて聞かせて叱るのだつたが、無駄だつた。熱い涙は後から後からと、こみあげてきて、枕を濡らした。すると、氣味の悪いくらゐに頭がし—んと冴えてしまつて、過去の斷片や碎片が走馬燈のやうにくる〳〵と廻りながら間斷なく浮び上つてくるのだつた。自分の自殺を報じた新聞の一隅が……署長の顔か……死の瞬前の自分が崖に立つて、灯の點つた湯の町の風景を呆然と眺めてゐる光景が……曉の汽車を待つ熱海驛で父と離れて坐つた、あの冷やかな待合室のベンチや…それ等が堂々巡りに際限なく、涙と共に流れ出すのであつた。

そんな夜を送つた翌朝は睡眠不足の體を朝の早い父に起されて、不精不精に起き上る辰吉だつた。この頃の辰吉は、もう自責どころか、自分を保つのが精一杯だつた。

寶木は他の誰よりも、辰吉の心を捉へてゐた。といふのは、辰吉が寶木が自分を一番知つてくれる人間だと信じてゐたからである。寶木は辰吉の心をやはらげようとして、目に見えぬ苦心をしてゐるらしかつた。近所のしるこ屋へ誘つたり銀座の華やかな雜沓の中へ連れ込んだり、映畫館の雰圍氣に馴染ませやうとしたり、さうした寶木の行動の中に、辰吉は自分の氣持を紛はせようとしてゐる、溫い寶木の心を察して、口ではさう思ふことの片鱗だに喋言らなかつたが、絶えず濟まないと思ふ心の火だけは燃やしてゐた。そして、寶木と一緒に居ない時の辰吉は妙な心細さを感じることがあつた。

讀書と國民的教養に就いて（六）

—序論的覺書—

守谷良平

又濟のある有名な學者の說を引用し『歡樂の春、書を讀むなどとは以ての外である。夏は寢て暮すに一番よい季節である。多がまたたく間に過ぎ行けば、またくる春の日を待てばよい』と云うて四季を問はず、讀まずに過ごすといふのにも一理あると肯定してゐる。

又眞の讀書法とは何か？に付て『答は簡單で、氣が向いた時に書をとつて讀むだけのことである。十分に樂しむには、讀書は、あくまで氣の向くまゝでなければならない。人あつて—何かの一册を携へ、戀人と手をとり合つて河の堤に讀みに行くとする。その時頭上の雲が美しければ雲を讀んで書を忘れよ、さもなくば、書と雲をともに讀め、たまたま一服のよい煙草、一ぱいのよいお茶があれば、もう何もいふところはない。また爐上の茶釜は快い音を立て手もとには一袋の煙草があるといふやうな雪の夜半、哲學、經濟學、詩、自叙傳などの書物を持つてきて寢椅子の上に積み重ね、のんびりした氣持で手當り次第に二三册めくつてゐるうちに、興がわけば靜かに煙草に火を點けるのも、この上ない樂しみである。この例でもわかる通り、讀書する時に最も必要なのは、悠揚迫らず、何ものにも煩はされない氣分と態度である。これによつて、あらゆることに對する隱忍の心をやしなふのである』

林語堂は語つてゐる。快樂主義者であり虛無主義者であり又一面現實主義者であり自然主義者である彼の飄々乎たる風貌が、かうした彼の短かい文章の中に脈々と躍つてゐる。

筆者は林語堂の如上の讀書に對する心構への妥當性云々又は讀書に對する考へ方等に付てこと改めて批判的文字を挿入したくないが一言ふれゝば、かうした林語堂の讀書に對する規定づけは、其の規定を通して直感的に印象づけられることは、故國に魂の安住を喪失したコスモポリタンとして世界に流離する典型的民族の漂泊的性格がうかがはれ國民的に正しい安らぎを得ざる半ば諦觀的民族の一員としての片鱗が無意識的に流露してゐることである。

われわれは林語堂の讀書に對する生活態度、別の言葉で云へば單なる小乘的一個人の生活環境に於ける愉悅、幸福なる倫理的觀念に律せられたる讀書への嗜好或は個人的悅樂として愛好される心構へより、渺くとも當代に於ける讀書に對する思考乃至は心構へとしての生活態度は全然見直されなければならないと云ふことを痛感するものである。

即ち讀書に對する個人的生活環境に於けるエンジョイメント乃至は單なるプレジュアとして或は倫理的カテゴリー內に客體化される讀書心理乃至は讀書それ自體の運命的思辨方法は廢棄され或ひはそれより一歩前進して國民的成員の一メンバーとして缺くべからざる知識を攝取する即ち國民的教養を成滿する一つの契機として讀書自體が國家的社會的なる全體的なものを對象として、讀書すると云ふ處に、少くとも根本的な心構へとすべき處に時代的意義があり、其處にのみ國家の繁榮に社會の進化に有效適切な寄與と貢獻を爲し得べき素材的土壤があることを思惟するものである。

同時に斯の如き讀書に對する時代的規定こそ艱難多く重大な時局に逢着する國民自らの時代的義務なることを痛感するものである。

從つて現實の特異なる歷史的世紀に於ては讀書は特殊の社會群又は限定された階級層の單なる嗜みであり享樂として所有すべきでなく國民全體のものであり、一人の例外なき最後の一人の國民への國家の現實的乃至は將來的文化工作の一助として、經濟的乃至は社會的條件に制肘さるる國民大衆の爲に萬遺漏なき方途が眞摯に講ぜらるべきである。

嘗て紀元前千八百年前ソクルグは「國家はその國民の健康に關して配慮すべきである」と云へる言葉に相俟ち、われ〳〵は國民の教養を確立する爲に適切にして妥當なる配慮を樹立することをプロポーズせんとするものである。

同時にわれわれは國民的教養を成功的に導く爲に讀書に緊要不可缺なる國民的義務の一環として取り上げられ、その有效適切なる營爲の中に、そのレーゾン・デートルの至高性と其本質的な時代的意義が要請され考慮させらるることをわれわれは泌み〳〵感得するものである—完—（筆者は民生部機關誌「民生」編輯者）

黑い天使

中原銳彦

げえ、げえ——とどすぐろい血を吐いて
灰色のマスクをかけた男だつた
場末の町から町へ　ハッパのやうな靴を引きずつて
空氣をひんざいて
世の中の惡德に　天に向つて怒號する
誰も知らないあすもあさつても
男は　黑い天使に知らされる？

よこがほ

西谷正夫

十月のやるせない
こゝろよい　あかるみが
わたしをしのびなかせる
たそがれのうすらあかりに
ほろほろとすゝりなくのは
こゝろのそこにやどる
かなしいよこがほなのか
あゝせめて
あの日が
もう一度かへつてこようなら

—稚き日のノートより—（十六の春）

このごろ

ほつかりと
ほつかりと
ともしびがつく
あのひとみと
あのくちびると
ながいまつげと
ぽつんと
五月のかげがうつゝてくる
わたしのこゝろ
わたしのこのごろ。

なげき

くらぎ　家路に
四月の陽は
あえかに　かゞやき
しづやかに　あゆめるひとの
こはあるまじき
ふるさとのひとにもにかよへるかな
ゆふべ　ふと
ひとみにうかびくるは
濱楯の花の　むらさき。

ベッグ手帳

ひ弱い文學

北原武夫「家族」（『中央公論』二月號）

北原武夫も愈よ乘出して來たと言ふべきであらう。この作では、同じく文學をやつてゐる女性との戀愛の間に、子共を病氣で失ふ、そのめんめんたる思ひ出を書いたものである。だがこれはいかにも弱々しい文學である。それは題材のせゐとのみは言ひ切れないであらう。この作家はこの境地から拔出す必要があるのではないか。この境地に止まつてゐてはこれといふ發展性が無いと思へるのである。（御垣衞士）

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局一部御送附相成度し（係）

△開拓（四巻一號）坪上貞二「滿洲建國と開拓事業」村山藤四郎「開拓の熱情」「增産報國」高見茂「滿洲開發と在滿鮮農」その他開拓關係の各種記事（滿洲拓植公社）

△鑛工滿洲（一巻二號）田村敏雄「青年技術者の夢と滿洲國」その他（新京、滿洲鑛工技術員協會三十錢）

△北滿歌人（二月號）（哈爾濱透籠街九、北滿歌人社、二十五錢）

△政經時評（二月號）（東京市荏原區戸越一三三九「政經時評社」三十錢）

△業務改善資料（二月號）（滿鐵總裁室能率班、年一圓）

△內外經濟情報（二月一日號）（日滿實業協會滿洲支部）

粉雪も見舞ふ
＝夜にかけて…きのふの訓練

多季國都警護訓練は演習氣分愈よ高潮の中に管制下の第二夜を過し、けふ第三日最終日を迎へ各機關何れも有終の美を飾るべく防衛解除の最後の一時までと總動員の意氣益す軒昂、傍ら第二日目までの實績に對する假挚な批判を怠らないが、二日目午後粉雪交りの天候を衝いて行はれた訓練情況を示せば左の通り

▽廿四日晝夜四回に亘つてわが戰鬪機は哈爾濱上空に來襲せる敵機を邀擊大空中戰が行はれたが、小癪にも敵機は我が空中陣を潜つて國都上空に來襲午後三時廿九分滿人街目拔通りの西四馬路角泰發合百貨店前に瓦斯彈を投下した、然し第一線に立つ義勇奉公隊、衛生奉公隊、家庭防護團等の活躍は目覺しく適切なる處置により群衆を避難所に收容、ことなきを得た

▽更に敵機は豐樂路舞踏場モンテカルロ附近に燒夷彈を投下したが、出動した順天區消防班の活躍により僅か十分にして鎭壓

▽續いて四道街大經路新京銀行支店交叉點に催涙彈が投下されたが被害はなかつた

▽夜に入つて七時三十八分夜襲を企圖せる敵機に三回目の空襲警報が鳴つたが前夜の月明に比し暗黑の闇に包まれた國都は敵機に投彈の隙を與へず空しく退散

▽九時卅五分第二回目の夜襲があつたがこれも乘ずる隙なく遁走、非常管制を解いた國都に無氣味な沈默の夜が更けて行つた

新京驛狀況

▽二十四日午後三時三十分敵機空襲のサイレンは粉雪チラつく寒天に鳴り響いた滿鐵新京支社、電話交換所、機關區各屋上に待機の新京警護隊對空監視哨員は素早く警備箇所へ連絡機敏な動作に鐵道中樞地帶の守りを固めた

▽敵の謀略戰術は列車に細菌を撒布しつゝありとの想定下に折柄機關區事務所附近に停車中の機關車車輛數輛に對て同隊員、機關區防護班協力して汚毒車輛の消毒に懸命の活動を展開、完全に消毒殺菌を終り敵の企圖を挫折せしめた

醉漢現はる

防空下令下第一夜に於ける順天警察署管内はさしたる異狀もなく避難狀況は第一次空襲の場合を除く他は頗る良好、午後七時二十五分發令された第二次空襲警報の際に管内菊水町西某他二名星某等は不注意にも燈火點燈のまゝ外出し叱責され又滿鐵社員田中某は泥醉して三中井百貨店のガラス窓を破壞、あまつさへそれを阻止せんとした同署警官に向つて暴行を働き檢束された

警護訓練（第二日）

寫眞上から管制に入つた夜の中央通▽新京驛列車爆擊「假想」に際し活躍する驛員▽對空射擊を行ふ警護隊員▽敷島區奉公隊のペダル隊員

快速連絡十分！
双輪部隊の活躍（敷島區隊）

防衛令の受領、警報の受領燈火管制、避難（交通整理）指導は今回の多季警護訓練に與へられた課題であつたことに防衛令、警報等の受領は最も敏速、正確を期せなければならない重要なる使命を持つものである、この正確を期してこそ燈火管制にまた避難に敏速、適切なる處置を講ぜられるのである、各區隊にあつては訓練實施中連絡網の完璧を期し各連絡員は本部に徹宵詰め切つて涙ぐましい活躍を續けてゐるが敷島區隊に於ける連絡情況はと記念公會堂の區隊本部を覗いて見る同區十町會から選拔された各町一名宛の連絡員は身動きもせず分會に待機折しも空襲警報のサイレンがうなつた、連絡員の面上はさつと緊張に漲る本部から命令を受領するや、ひらり自轉車で飛鳥の如く管制下の人影一つない街を一目算所屬分隊に急ぐ、この時間を測定すると同區の最も遠隔の地（約二キロ）にある白菊町分隊白菊會館までの所要時間十分間、近接の入船町會へ二分半至乃三分、平均十分、區隊の連絡五分間と言ふのである

防毒座談會 滿洲空務協會では時局下に於ける防毒思想知識普及のため二十六日午後二時より國防會館に於て毒ガスの權威者山本少佐を煩はせて座談會を開催することゝなつた、一般の傍聽を歡迎すると

われらはかう見る
國都冬季警護訓練

國都の嚴たる空の護りに四十萬市民を動員する冬季警護訓練は新しい防衛規則の徹底を期し酷寒の影響下に於ける訓練といふ課題を含むと共に文字通り『國都の護りは市民の力で』をモットーとする家庭防護隊の活動を主體とする市民自らの訓練であり、且つ從來の如く想定を豫告せず訓練が常に意表外に行はれ、備へあれば憂ひのない實力を檢討せんとする特殊性を多分に含んでゐるものであつた、かうした新たな課題の下に實施した本訓練に對し街の人達はどう見て來たのであらう

第二夜黑星
統監部足下から燈

◇……管制第二日目の夜は來た、月無く前日よりも風が寒い、街にゆとりが出來たらしく、第一日は七時過ぎからもう靜かに眠つてゐたが、この日は警戒管制狀態でサイレンの鳴るのをじつと待つてゐる、それでもまだ暗すぎる傾向がある國都の盛り場を視察しようと先づ寶山に集つた統監部連の騷ぎもやはりこの點を指摘してゐる

「昨日よりも良くなつたが、やはりまだ暗いですね」「さう、警戒管制と非常管制の變化がぱつと眼につく樣になつたら滿點ですがね」

◇……やがて午後七時三十八分、サイレンだ、國都の諸所に合圖の煙火がパッパッとあがる、寶山屋上にある統監部は足下に全國都を睨んでじつと注視する、輝いてゐた燈が段々と消えて、三分、五分、段々と暗黑に近づいて行くが、これはまた前日に較べて何たる成績の惡さよ、あちらにもこちらにもまだ殘燈がある第二日に入つて市民は馴れたと同時にまたいさゝか燈火管制を甘く見過ぎた樣である「こりや、いかん」統監部の人々はつぶやく、お膝元の新發路にさへ殘つた燈が存在してゐる、十分過ぎるもまだ完全と言難い第二日目既に黑星狀態であつた

家庭防護の自覺 充分に徹底した
心強い敷島區 寺中隊長語る

寺中楠治氏（義勇奉公隊敷島區隊長、敷島區長）敷島區は曩の區改正で大きくなり今回の訓練についても成果に對しても心配してゐたのであるが、防空觀念に對する區民の精神的訓練は徹底して心丈夫に思つた、ことに家庭防護と言ふことについては各家庭では充分に自覺理解され決して無關心でないと言ふ事がはつきり判り自信がついた、例へば警戒管制下の燈火の如き幾分暗い感じがあつたが完全であつた、これは各自が緊張してゐる證左である、又班員の勤務ぶりを見ても各自何等の不平なくよく自己の任務に服したが如き實に愉快であつた、今後防衛の基本となる家庭防護隊の訓練には一層力を入れたいと思つてゐる

照明の基準明確に
警察電業意見相異 模範區から示唆

今回の多季警護訓練を機會に市公署では商店街吉野町二丁目表通り一帶を模範燈火管制區と指定して敷島區並に電業新京支店の指導下に模範的施設をなし、この施設を漸次全滿主要都市に普及すべく計畫その成果を期待されたが、これについて吉野町村岡吳服店主仁川勝三氏は次の如く語つた

施設材料は從來所有のものでやつたから費用はかからなかつた今まで變つてゐる點は電業新京支店の指導で照明が坪數によつて割當られ理想的になつてゐることだ、隨つて營業上に於ても至極便利で前回の演習より客足もよかつた、こゝの商店街も一部分ではあるが警戒管制から空襲管制に移る動作は機敏で完全ではあつたが、再び警戒管制にかへる時空襲管制のまゝにするものがあつた、然しこれは「客もないから」と言ふので手數をかけるのをうるさがつたものであらうか餘り暗くすることは警戒と空襲との區別がつかず營業も感じが惡い、困つたことは照明に對し警察官と我々と意見に相違があつた事だ、電燈は電業から坪數に對し割當られ我々も安心してゐたのであるが警察官の方では明る過ぎるから消せとしばしば注意を受けた、然し警戒管制下の時は普段と變らぬやう營業をやらねばならぬ、暗くすることは客の感じを惡くすることは言ふまでもない、許される範圍内に出來るだけ明るい照明で明るい氣分を持たせることは大切だ、結局照明について警察官と電業との意見が異ることは折角の試驗的になされてゐることがゼロとなる、最も照明を眼で見當する事も正確なものではなからう、いづれにしてもかうした事ははつきりしなければならない問題であらう

"上出來だ" 吉野町會長談

瀧竹三郎氏（義勇奉公隊吉野分隊長、吉野町會長、料亭八千代主人）空襲下の燈火管制について從來隊員によつてやかましく注意したが、今回の訓練については各自の家庭がどの程度自覺してゐるかを見るため多くを言はなかつた、その上色色の訓練について何等の豫告も與へなかつたが、いづれもよく出來て好果を收めた、市民の防空觀念は徹底してゐると思ふとくに義勇奉公隊員が眞面目に出動して活動してゐることは嬉しい現象である、そしてそれが決してお祭り騷ぎではない、ただ夜の空襲管制下に於て直ちにその場で停止すべきであるのに、注意を受けないと歩いてゐる認識不足のものをちよいちよい見受けたことは遺憾であつた

連絡をよく 三笠校長談

辻松太郎氏（三笠小學校長）特にこれと云つて意見批判はありませんがたゞこれは些細のことですが二十三日の午後三時頃に發せられた空襲警報時にある場所にゐた防護團員が警報發令と同時に交通を停止し一般市民を全部假想避難所に收容しましたがかうした間違ひが起るのは統監部との連絡がうまく行つてゐないのではないかと思はれました、しかし全體を通じてみれば非常な好成績なのではないでせうか

指導員御苦勞さま 大變親切でした
立派な態度！街から賞讃の聲

空襲警報一下公共假設避難所へ誘導される民衆の整然さ雜沓の街から一瞬靜寂の街へ警護訓練下に見る心にくいまで一糸亂れぬ秩序である、そこにはかつて見た民衆に喚鳴り散らす醜も聞かぬ、默々として指導者の命令に從つて敏捷に異動する動から靜への民衆の流れである、かうした整然たる秩序の保持も特に今次訓練に於て目立つて一般民衆に氣持よく映ずる現象であつた反面これが指導に當り訓練實施期間中晝夜を分たず警察官と共に街の辻々に立つて交通整理に當る警察補助員或は各町々を護る區隊員の平素の訓練と任務遂行への眞しな態度によるものであらう

「今回の訓練で指導員は非常に親切でした」とはこれ等區隊員、或は警察補助員に對する僞らぬ民衆の聲であつた、室内の燭光が強すぎると窓硝子を破壞するが如き亂暴な指導員によつて市民の反感を買つたかつての防空演習時に比較する時、その指導的態度には雲泥の差を見出すのである

よりよき秩序はよりよき指導から生れるのである、指導の第一線に立つこれ等區隊員、警察補助員が市民から感謝の念を以て迎へられたことは蓋し本訓練の一つの大きな收穫ではなかつたらうか

滿系の向上 稻川新京驛長談

稻川新一氏（新京驛長）今回の警護訓練は從前三度行はれたこの種演習訓練に比べてその要領こそ違へ長足の進歩を示してゐることは確かだ、事實黑一色となつた空襲管制下の最中に發着する列車の乘降客、見送りの人達がよく驛員の誘導に從順であつたことでも判るが殊に滿人層に一段と防空の重要性が深く認識されて來たことを如實に物語つてゐる、又今度の訓練は今迄と違つて重點が自體警護に置かれてゐるところから驛でも數箇の防護班が組織され各々異つた情況下に行動したがまあ上々の効果を收め得たと思つてゐる、要は縱横の緊密なる連絡あつてこそ完璧を期すことが出來、はじめて驛構内並に列車内の人達を敵機襲擊から守ることが可能だと考へられる、今後はこの訓練から得た貴重な體驗を基として益す驛員の團體訓練に意を注ぐ積りである

お客さんまでが眞劍

川崎留五郎氏（櫻ホテル主人）旅館業者として非常に嬉しくまた心强く思はれましたことは泊つてをられるお客樣方の態度が丁度自家にをられて管制下に入つた時のやうに眞劍味を帶びてをられたことで中にはわざわざ外に出られて灯は洩れてないかと氣をつけて戴いた方もありました當方としましても出來るだけのことはやりましたがこのお客さんの協力には感激しました今後益す緊張味を持つて進みたいと思つてゐます

"空襲"解除後の交通整理に遺憾
補助員は居殘れ（小吉カフエー組合長）

小吉唯一氏（新京カフエー組合長）氣づいた點といつては先づ燈火、空襲兩管制を通じての燈火設備で從來は實施前に一應係員が各家庭に亘つて設備の點檢をしましたが、今回は先年七月長期に亘る防衛下令があつたので一般的に特に臨檢は行はれなかつた樣です、その結果と言つたら口はばつたい言ひ草ですが實際的効果が擧つてゐない樣に見られます次に空襲管制解除直後に感じた事ですが交通頻繁な所では短時間内に停止した人、自動車、客馬車が入り亂れて良くあれで事故がないものだと思はれる位でした、どころで管制直前に目覺ましい活躍を見せてゐた補助員が何時の間にか引きあげてしまつてゐますが、補助員は解除直後だけでも交通整理に當つたらと思ひます、少し我田引水の形になりますがカフエーの事を言はして戴くと心配してゐた程のこともなく先づ安堵してゐます

一切白紙に
双輪問題圓滿解決

既報、滿洲國自轉車輸入統制組合問題を中心として二十四日午前十時から日滿軍人會館に於て開催した「日滿自轉車業者懇談會」は隔意なき懇談の結果、本問題は過去の一切を解消して白紙に還り善處することに圓滿解決、和氣藹々裡に散會紛糾の幕を降した、懇談の經緯は次の如くである

滿洲國自轉車輸入統制組合は假承認程度のものであつたが、種々の關係から發表が出來なかつた、惹いてその間色々な臆測が生れると共に組合の九店側にも夢があつたもので紛糾の原因となつた、然し今後は過去の一切を解消して白紙に還り政府當局は業者の聲を聞き善處すると共に業者側は今後の具體的問題について一切觸れず政府に全幅の信頼を捧げて双方打つて一丸となり業界の發展に且つ王道樂土建設に邁進すると言ふ結論に到達した

もゝ鳩

東拓ビルの二階三階を占領してゐる東邊道開發會社▼親會社の滿業の陣容が膨脹して室の割當が問題になると必ず「東邊道會社を早く通化の山奥にやらねば何ともならん」といふ結論に到達するのである▼ところが資材やら色々の問題で二道溝に豫定してゐる東邊道の本社は中々出來相にもない▼酒家文書科長その話を聞いて「憎まれつ子世にはばかるとは良くいつたものですね」とすまなささうに述懐してゐる

けふの天氣 西の風晴
きのふの氣溫 最高零下〇度四 最低零下10度四

淺春胡同【五六】

工　清定
白崎海紀（繪）

驀進（2）

僅か半年間ではあつたが忘れられない思ひ出の種子を蒔いた新京の生活よ！（左様なら！）

窓から顔を出した哲也の眼へ、支局長の、千也子の、ルミの顔が、石炭の粉のやうに み込んだまま、見る見る小さくなつて行つた。

列車が南新京近くにさしかかつた頃、彼はルミから貰つたハンケチの包みを解いて見た。

一握の黒髪が生きもののやうに、その中にとぐろをまいてゐた。

彼は咽喉へこみ上げて來る何ものかを、こらへるによほどの努力をしなければならなかつた。

それが、弾みきつた彼の心に迫るたつた一つの觸手だつた。哲也は強ひて忘れようと、腰の双眼鏡を取出して、窓外を覗いてみた。

（黒田も今頃、何處かの野山であの双眼鏡を使つてゐるに違ひない、おお、いまこそ俺もその中支へ行くんだ！そして銃こそ持たないが祖父のやうに、軍刀こそ佩びないが父のやうに、戰火の野を馳驅するんだ！）

しばらくたつと、哲也はリノリユームの床を、兩足で馬のやうに掻き鳴らしてゐる自分に氣づいた。

膝からルミの黒髪が、いつのまにかそこへ落ちた。

つと拾ひ上げて土埃を拂つた哲也は、網棚の圖嚢にしまひこんだ。

赤銅板を蝕ばむ緑青のやうな若草が、一齊に芽ぶいた一望無限の曠野は、ゆたかな曲線を描いて、双眼鏡に映つた。

酷寒、氷雪――あらゆる冬の苛責に、ひたすらたへしのんだ草が、木が、土が、鳥が、いましその忍苦に報いられて、和 たる春の日ざしにひたつてゐる。

彼の列車は、さうした曠野のまつただ中を、一路南へ、猛獸のやうに驀進してゐる。

×

日本軍が揚子江に沿つて枯葉を捲く疾風さながらの勢で、安慶から大冶へ、大冶から漢口へと、涯しない光榮の進撃を續ける、その年の秋。

哲也は硝煙と土埃と血の香に塗れた夏服のまま、第一線部隊とその難行軍を共にして、すでに上流數百キロの地點に進んでゐた。

その頃―大連上海航路の青島丸の三等船室から、上海碼頭に上陸した『上海カフエ行』女給の群に、ルミの姿が見出されたことをつけ加へるのは、次の挿話と共に、あながち蛇足とのみ言ひえないであらう。

『鐵都大冶に日章旗飜る！』の捷報を、『一番乘り！村崎本社特派員發』として掲げた『大阪日々新聞』は、同日附の第七面に『聖戰！肉彈の猛攻』の連載第二回分として、『槍與に捨身の戰法』『土手に血煙、阿修羅の奮闘』『悲壯、身に十四ヶ所の白兵創』『病院にはじめて知る嚴父の死』などの標題に飾られた○○衛戍病院入院中の白衣の勇士、西口伍長の武勇談を掲げてゐた。

そしてその武勇談は、重傷のため兵役免除の悲運に直面した西口伍長の、不具の[illegible]満洲協和事業に捧げたいといふ、堅い熱望で結ばれてゐた。（完）

次回連載小説　課題

簡豊子作　桑原宏繪

工清定氏の「淺春胡同」は好評のうちに完結しました。本社はその後をうけ在新京の新進女流作家簡豊子氏作「課題」を連載することとなつた。描かれるのは若いインテリ女性をめぐつての青春物語、時代と人生がいかなる課題を彼等に課してゐるかを作者は探究しようとする。期待を以て愛讀を賜はりたい。

列車發着表

◎大連方面行

行先	時刻
大連行	前二時三十分
奉天行	六時廿五分
釜山行	八時
奉天行	八時卅五分
大連行	九時三十分
營口行	十時三十分
四平街行	十二時三十分
奉天行	後一時五分
大連行	一時四十分
大連行	二時三十分
大連行	三時廿五分
四平街行	四時五十分
釜山行	六時五十分
四平街行	七時四十分
大連行	九時四十分
大連行	十一時十三分
奉天行	十一時三十分

◎哈爾濱方面行

行先	時刻
哈爾濱行	前三時四十三分
德惠行	五時十五分
哈爾濱行	六時三十分
哈爾濱行	八時十分
哈爾濱行	九時
哈爾濱行	後十二時五十二分
哈爾濱行	三時十五分
哈爾濱行	五時三十分
德惠行	七時十分
哈爾濱行	十時卅五分
牡丹江行	十一時四十五分

◎圖們方面行

行先	時刻
吉林行	前七時五分
羅津行	八時卅五分
圖們行	九時四十五分
吉林行	後一時
牡丹江行	三時二十分
吉林行	七時廿五分
淸津行	十時五分

◎白城子方面行

行先	時刻
白城子行	前八時廿五分
白城子行	十時五十五分
前郭旗行	後五時三十分

◎大連方面より

發地	時刻
大連發	前三時卅二分
大連發	六時十八分
奉天發	七時四十五分
大連發	八時
四平街發	八時四十六分
四平街發	九時四十分
釜山發	十時卅二分
奉天發	後十二時三十三分
大連發	三時
大連發	四時二十分
大連發	五時二十分
營口發	六時四十八分
大連發	八時二十分
奉天發	九時廿五分
釜山發	九時四十五分
奉天發	十一時三十分

◎哈爾濱方面より

發地	時刻
德惠發	前零時三十分
哈爾濱發	二時二十分
牡丹江發	六時五十四分
哈爾濱發	七時四十四分
德惠發	十一時三十分
哈爾濱發	後十二時五十分
哈爾濱發	一時三十分
哈爾濱發	三時十分
哈爾濱發	六時四十分
哈爾濱發	九時三十分
哈爾濱發	十一時三分

◎圖們方面より

發地	時刻
淸津發	前七時五十三分
吉林發	十一時廿四分
牡丹江發	後二時十分
吉林發	五時廿一分
圖們發	八時四十分
羅津發	九時三十分
吉林發	十一時十五分

◎白城子方面より

發地	時刻
前郭旗發	十一時一分
白城子發	後六時卅二分
白城子發	九時五分

廣告の御用は　電話（3）三三〇〇番